三、四日中北平を去り

汪の辭意には

漫遊

人談人南京九日發」支部派所報、某要

一良は辭意固

學良の罷免實現か

仮任は何應欽か朱培徳

北平在留邦人

面會避けに

て會見な終り直にその旨各公

化しやう、県真の後觸者として北方においては閻錫山、韓復樂最も有力であるが、園錫山が栗出良の鮮時間顕養生前の日本の對圖度硬化の態度は暫く緩和さるべく、學良の後觀者如何により

到日本關

復興が今のさころ最も無難であらう。
「の勢力挽回となり學夏再起の餘地なからしむに至るべく、從つて日本にもよく、嬰セニュー・整國民軍の勢力挽回となり學夏再起の餘地なからしむに至るべく、從つて日本にもよく、嬰セニュー・

表辨伯蔵は韓復榘の出馬方が慫慂すべく衛南に赴き種々協議し

も北支軍事に関しては翼の北平軍事會議の決定所に遂立してその艦度を闡明にせず一般の往目を一起 軽復變の出声がか幾乎でく撤南に動き種や機響したが、**韓復榘は成行の重大、に動き**

印刷般

現法機察を了へ十一出代でいかる一元鴻ケ副建議校院洋石氏は補州の がでいっした。

止義に立脚し

着いて語る

代は軍隊がやる、満脚は経療的 日満の共存共築な関るべきであ る、満洲の原料を内地に選びこれな加工して満洲その他に出す 私は一昨夜、神戸で山下地三郎 だが、山下衣斛三十一隻で満洲 大豆んドイツはどめ歐洲を同へ

本八田嘉明氏(補機副總裁)十日 中前九時養赴率 人工の本山西恒郎氏(浦線理事)同上 の本山西恒郎氏(浦線理事)同上 の本山西恒郎氏(浦線理事)同上 本等が中数一氏(浦線理事)同上 本等を環道氏(浦線理事)同上

D

が、同時に得てテロ鉄

獨政府の

を支那支拂

トン様な委員長さする支料調査トン様な野へ日支熱気間に少大の概みれる黙目通際ないのあり、

政局愈々混沌

市制擴張に關し 要路ご折衝のため

市長は約三週間の建定で十日出戦人と東市制機強家を提び小川順之助一端ビル新館内に事務所を設けた大連市制機強家を提び小川順之助一端ビル新館内に事務所を設けた

▲安藤弘太郎氏(農林省技師)同來連 4矢野一智氏(大阪美校々長)十

▲後宮澤氏(陸軍歩兵大佐)同上 ▲三木正夫氏(海軍中尉)同上 「中国」)同上 B米不氏(吳庫縣議為課長) **吉氏**(日本大學教授)同

▲小平誠氏(滿姨々嶺驛長)同上
▲翌月勝海氏(四高教授)同上 ▲平貞廠氏(法政大學教授)同上 ◆費田久三氏 (千葉智大教授) 同 入雄氏(清線板山底務課長)

を開いて原案全部の決定な際と十 を開いて原案全部の決定な際と十 小川順之助氏(大連市長)同上一十時出帆ばいかる鬼にて帰園

蔵の査定了る

害、一報毎に凄慢を加ふっ **阿爾**帕

首相諒解を求む

時局匡教策に關して

兩黨首に

で、スチムツン長館日本を非勝、 正式且つ最し職権な立場におい 浦、鷹、日、鮮各住民の痛苦疾 0

政府案支持

民政對議會方針

前院して御大鉄な叩 んな事だら 在北平の何やら調査際、それに

學良「仕方がない

白の職器脱退就、日本 それが、手のみでなく、 してゐるさ畑つた時

政友態度を

表明せず

その學典下野で

日登一鈴木總裁は九日衛

(機能位、仕方がないわ。誰も見 井の、選しい力の下に、地きすく に、酸れかゝるやうになった。そし 別の手が、群にかゝつた。そし 別の手が、群にかゝつた。そし 「いけないわ」

料料は、 聞かせて 職で呼吸を、 、打つのな、軽 魔名の耳れ

32H9



ける諸國の松岡洋右氏談

満洲國を援けよ

【南京九日登】 正標館四階級節職 配は新内閣成立後されるが、一般 後後職内閣は常移會語で決定する の融源では県良能免の関連は確認 が、常移委員は九名の内五名が勝 なりさされ、學恩の後低は仲麒成が、常移委員は九名の内五名が勝 なりさされ、學恩の後低は仲麒成が、常移委員は九名の内五名が勝 なりさされ、學恩の後低は仲麒成が、常移委員は元名の衛達なり書が、一般と歌を記した。 あらうさいはれてゐる の鑑さなり書か行の演奏は確認 でありると

辭職公表

汪が留任せずば

余心亦辭職決意

將介石、何、朱に通達

中能を解験す

事を述べたので、修公使は之を認 事を述べたので、修公使は之を認 事を述べたので、修公使は之を認

【ベルリン九日教】ドル日と大統領の緊急令を養布した。 「なった」と大統領の署名を認めて、政治的集行は が所は政治犯特教の署名を認めて、政治的集行は 認めて、政治的集行は が所は政治犯特教の要 では有力手段によりた では有力手段によりた。

良さ同時齢級を追溯してゐる任

時局救濟第

行政院會議流會

注の蘆山行疑問 府會議も在京委員覧さため開會さ 流會さなつた、なは明日の中央政 では在京委員権かに都長二名のみで は在京委員権がに都長二名のみで

わであら

變化なし 調査團の報告

歌は二連間後完成の見込であるが 北平九日登 職!!!!! | 新聞の報告 ふものださの非難を含め、純

でゐる由である、委員會は遠は日 を の暗がな難へたが、日本の不利に でゐる由である、委員會は遠は日

日本に不利となる

學良の注意喚起

治安問題に關して

■3 単良計職問題 ン氏、フランス公使ザエルダン氏に要はしてる 等脳線の結果、ヴェルダン公使はその治安につき當 イギリス代理公使イングランヂ氏

ス長官演説反響

滿洲 七日外一交職教會院上米國国初長官スチ 國承認時期口

武藤大将の具申を尊重し決定

の影響が戦により動能後は歌ら戦をさなつたが、歌脈大概は指政府を記したが、歌脈大概は指政府

司令官武藤大将の書(現在

赴任前に重要指示

三木派事務所

八百米リレ 小粒が揃って小粒の細胞振りを 0

經濟的に日滿の

共存共榮を圖る

時局重大の際大に働く

門司にて林滿鐵總裁談

女には、時さして、恐怖さ共に、「難して」女性は

時さらて、恐怖で共に、

ないことが多いものである。 鑑は云つたが、張く振られ 見てゐない)

小川市長けふ東上

い、 たの 京都は、 軽井の 娘を、 押い、 片手で、 軽井の 娘を、 押いの 実際は、 軽井の 娘を、 押い

春井は、素早く、鯔の、脚手か

たが、手です 押へるさ、そむけてゐる魔の類

八百リレー

四百の三羽鳥

准決勝入選

何れも大會の新記錄

夢中で泳いだ

前州選手語る

八分五八秒四

物凄く十八米の差で日本一着となる『葛眞宮崎、遊佐、豊田、篠山選手】横田は綺麗に泳ぎカリリ頑張り漸次編めたが横山のラストス豊田カリリを十三米離すヘシガリー駐に四十米遷る六百では鼈田十五米をリー

により一米運れて乗りにこれた追ふ、四百でフイスデー力泳三十五米に差が締める 五十位全 をを振げ 米のカリリル十三米離らハンガリーは頭に四十米週れカナダミンガリー、英の順序、百五十で日本三米半糠と、二百で十米、日本、米、ハンガリーの脳

大勝につき野田水上助

なく五都、タイム一分三五科一で一番との差八米で変速した

女子百米背泳機選

野田助監督の作戦談

二秒

イング(英)一

秒四の世界新記録をつくつたが、スタートは一郎、八百米リレー決勝で日本は宮崎、遊佐、豐田、

本願し、二百で十米、日本、米、ハンガリーの願は一際 五〇米で日、米リードし百では一際 五〇米で日、米リードし百で

に違い付いたが、再びポーラ

加九十の世界各国

火きは切られた

回戦

技開始

ボートフォア漢選

一着 定顧(七分四秒) 一着 波蘭(七分四秒)

コー (フランス) 神) 判定 カルラ (カナダ) 神) 判定

決勝は大横田と

判定負け

イツ選手

林選手

横山との競合ひ

田畑水上總監督語る

一般の平林はドイツのキャンペにれた戦闘第一回戦で我がウエルタ

各驛襲擊

山曜一門な療行線時残事で午後一戦山宗佛際小神中尉はか廿四名は

サンゼルス

邦人観衆の感激と興奮は將に頂點に達した、萬雷の如き拍手、水上二回目の覇権は又復我軍の手に歸した、萬雷の如き拍手、、六百では藤原十五を賜く四番の様山ラストスピート物源くカリリ鉛光の力派も及ばず十八米 選手羅然與深四百了五十 かと駆け合当う!



八米引離

決勝に全力

競泳總得點數

録で見事入選した大横田選手は説明後に抗ら中国分五二种八の経記 が明日は大いに頑張りますしました。また機が少し壁ですとました。また機が少し壁で入港 病後の大横田

で

アニス、前畑の顔で各一米アセンやトリードもヤコブ 女子二百決勝 三分六秒三

三分六秒四三分六秒四

横濱高工

エドニッケ トン (美) トン (美)

サ分スタートし、

勝に二都さなつた前畑域は強しそで帰らしい經職を見せて見事で泳決

職さ共に維動する機震高工野球部全層高等第門學校野球乳に機震高 期待される對實業戦

の公然の秘密さなつてるます では全く離けがなく軽電が立っては全く離けがなく軽電が立っては全く離けがなく軽電が立っては全く離けがなく軽電が立っては全く離けがなく軽電が立った。 店の二百餘級の拳銃港曹華仲は司から暴騰した市内紀伊町山田銃砲 今夜來連する るた事質が判明で

女子二百米決勝經過

中川五場

長内田鎮一 りた疾

院隨意・電話五六五八番公エン町・トキア小学校前 東の風雪一時晴但驟雨 本の風雪一時晴但驟雨

帝

國

十日夜間に限り

不満州谷地の中等學校ご乳漬試合た なすべく武者像製の展に来た九州 (東京の下に十日入港)カリか城に で来達したが、面観には同じ目的にて来達せる弥響議画段式名は小門教諭 にて来達せる弥響議画段式名は小門教諭 にて来達せる弥響議画段式等の が、面観には同じ目的に なった。 では、 のでにからいりか域に では、 のでは、 の

不到於你報

十二人種粗坂 御 禮

夏枯れを吹飛ばすこの暴風的盛觀を見給 初日一 日料

名が城に入還したので 同畑水 した おり 場に入還したので 同畑水 した

イヤー(米)二五

九日開かれた國際陸上

資格決定留保 ヌルミ選手の

キロの村落に匪賊出現のため

前山水源地画

和洋行士

警店

九 七 か御順申上げます

八名はモー

産兒調節に

手の資格問題が再散語されたがヌ

體操競技の 日本全部落選

六年ペルリン大会までの

業(科) 上上 に 一根 の が で で の は は は は は は か に 見 の か に 見 る 有 水 は 所 の か に 果 な い は り が に 果 な い ま え な い ま な な い ま な い ま な

柳ゴム肺嚢薬の経過を発

二着

(オリムビック新記録 テヤールトン(後)

りさ奉天驛 **兩洲將校の兇行から** 矢の椿事

頭部貫通統創を負はせ射殺、王の従五)は突然前方步行中の少佐王秀峰(日名が三等継承軍より総天職第二ホームに向つて地下一名が三等継承軍より総天職第二ホームに向つて地下 春田蝶子でも石田アヤ子でもの二名の少女は流漂に見舞けれ資陽した【奉天電話】 ムに上らんとした

市内三笠町一番地のコレラル橋の市内三笠町一番地のコレラル橋の御泉市内瀬間町二番地日福馬車戦器(生がコレラで死亡した人都製像(生がコレラで死亡した人都製像(生がコレラで死亡した)のか撃撃へ届けるさ休業の命どられる大の温素を撃るさいふ無智ない。 で大連率天新京の間を来往するさず機を調査して本社に特報する智 死體遺棄犯人 ンチン園の権威ある新聞る 一万月に取り満洲十日入港のめりか起

ト象ヒランプティ

▲最近本場より新荷着

から新聞記者

何品で

心他店より絕對に安

5

鴻業公司

公然の秘密

缶と供述

プローカーは早くも姿を晦す

銃砲店の不正調査

すりした有する権職高工されく際り でありこれを選手である。このはパッテーを有する権職高工されく際リーを表は和

中等校柔道軍

安く賣る

は

當

店

0)

主

義

大連市磐城町七番地(天日芸會) 大割引提

其陶實 他色 名 器類 豊富に取揃へて居ります 紫檀細工 花麻 札雀

(規則者要對第二後) 要話四三〇

生徒募集縣交替行行門

修理等門一麼語三回七五番 柴田

当当 品品 荷書富 村田均一店

金章千圓(%%%%) 券附 萬 和 出來ますから皆様の 選手は迅速に致します と は迅速に致します 4 精肉商

は御承知の通り

安人

三三一町園公西市連大(東文文章章新門正園公乗中)者九八四話電

御客様の御愛顧に報ゆる爲め を据付けまして

洋 行 の牛肉を完全に保存する が出來上りましたから安全です 店本 を 召

中順 製 **氷** 機



混合保管制度の

けふ更に近物七錢高

歌歌する劇目の不足については野歌 現て、東古の取引に際と新鶴に保 野野でも関する原語のなど、大連地照に続ける宮崎藤原ではこれが等後歌につき密 東、保管が三久しきに重り乾燥薬 殿・龍につき者虚することが密敷なる 東の信戦、窓に不服の凝しては本 東の信戦、窓に不服の凝しては本 東の信戦、窓に不服の凝しては本 東の信戦、窓に不服の最日不足さ 大連地照に続ける宮崎藤原ではこれが等後歌につき密 をの信戦、窓に不服の最日不足さ 大連地照にかける宮崎藤原ではこれが等後歌につき密 をの信戦、窓に不服の最日不足さ 大連地照にかける宮崎藤原ではこれが等後歌につき密 をの信戦、窓に不服の最日不足さ 大連地照にかける宮崎藤原の結 をのではこれが等後歌につき密 をのではこれが等後歌につき密 をのでは、窓に不服の最日不足さ 大連がのではこれが等後歌につき密 をのでは、窓に不服の最日不足さ 大連地照にかける宮崎藤原のには、 をのでは、窓に不服の最日不足さ 大連をのたりので、保管・ をのでは、これが等後歌につき密 をのでは、これが等後歌につき密 をのでは、これが等後歌につき密 をのでは、これが等後歌につき密 をのでは、これが等を変がにつき密 をのでは、これが等を変がにつき密 をのでは、これが等を変がにからな。 をのでは、これが等を変がにからな。 をのでは、これが等を変がにからな。 をのでは、これが等を変がにからな。 をのでは、これが等を変がにからな。 をのでは、これが等を変がにからな。 をのでは、これが等を変がにからな。 をのでは、これが等を変がにからな。 をのでは、これが等を変がにつきる。 をのでは、これがは、これが等を変がにからな。 をのでは、これが等を変がにからな。 をのでは、これがでは、これがでは、これがでは、これがでは、 をのでは、これがでは、これがでは、 をのでは、 をのでは、

線內砂、 短に類別による 関に類別による 関

各支店

協會定数 朝鮮對海輸出

「京城十日費」戦終の野洋物出場 総會定験は戦総献は曹操所事物展 に就て低成中であったがこの程展 上決定を見る部である 歐洲人絹ダン



大豆亂調子

大西 牧 和 取 和 和 八西 牧 和 八西 牧 和 八五四側の線路に使水、水面 八五寸を廃す で目下危險に漸してゐる

漸次減水

【神戸十川登】巨線の出越ながら

九百六十二圏の塔を示

含みを呈す

卸賣物價→激騰

宇都宫屋

況免旦

前月より一分二厘騰貴

大連商議調查)

東水を見いよく~後都正事に脱か 東大震水を始め九日平純級五種の 東大震水を始め九日平純級五種の は水社入電によれば沸路線一帯は

一安人氣去らず 根本的改正

神戸取引所より要請

滿洲産業開發の為

我權威者派遣要望

當局大體成案を得

神戸支店長の門司

定期晚合高(光 1) 定期晚合高(光 1) 定期晚合高(光 1) 京和八五八千枚「八千枚 京和八五八千枚「八千枚 京和八五八千枚「八千枚 京和八五八千枚「八千枚 京和八五八千枚「八千枚 京和八五八千枚「八千枚

○現物前場(早位後) 十一時 〈20 11300 181公 十一時 〈20 11300 181公 十一時 〈20 11300 181公 十二時 〈20 1130 181公 十二時 〈20 1130 181公 十二時 〈20 1130 181公 十二時 〈20 1130 181公

麻袋先物暴騰

思い切り □ 北九州商船出帆 作弹店大連市须轄市 入月子百 作弹店大連市须轄市 入月子百 五二六五

だし現在の無き機能な心臓をないない。

中東である。法文金統の二〇メーセ東である。法文金統に解決の法文契約を組んだよっの際に新規の法文契約を組んだよっの際に新規の法文契約を組んだとなった。その際に新規の法文契約を組んだといっている。 出 ントは現金で支機び、その他は術 のクレギットな聴定すること、な のクレギットな聴定すること、な でに地して畑い。クレギットに動す に地して畑い。クレギットに動す

ピング激化

(下) 結局行詰りか

第1、無九日養 | 國際人概能定は生生で信帳かの販憩さなつたが他方でも関内協定が最近にかても関内協定が最近にから、右の勝事機は「個後」

哈市食料難

(四)

頭區

諸物價未曾有の暴騰 ·全部浸水 い陷る が四次至六ポイント安(二十五銭)の原でた未標市場は九十零所よりた未標市場は九十零所より 米棉反落す

ニニーコーク九|| 要 戦烈戦権 地からの流入により三百七十四萬 地からの流入により三百七十四萬

先行き安見越しに無配依然戦戦を一安)に引けた

聯銀準備金

出超千八百七十餘

七月末郵便貯金 依然ごして漸増傾向 ~新記錄 朝鮮平北春繭

滿洲農

業ご

のれ一般市民は極度の不安に歴はれてゐる のれ一般市民は極度の不安に歴はれてゐる のれ一般市民は極度の不安に歴はれてゐる。 のない、今中ハルビン三十萬人口の食料供給所である慄家何の全線によりハルビンの食料品物便は のない、今中ハルビン三十萬人口の食料供給所である慄家何の全線によりハルビンの食料品物便は のない、今中ハルビン三十萬人口の食料供給所である慄家何の全線によりハルビンの食料品物便は のない、今中ハルビン三十萬人口の食料供給所である慄家何の全線によりハルビンの食料品物便は のない、今中ハルビン三十萬人口の食料供給所である慄家何の全線によりハルビンの食料品物便は のない、今中ハルビン三十萬人口の食料供給所である慄家何の全線によりハルビンの食料品物便は のない、今中ハルビン三十萬人口の食料は一種が水である煙家何の全線によりハルビンの食料品物便は のない、今中ハルビン三十萬人口の食料は一種が水である煙家何の全線により、ルビンの食料品物では のない、今中ハルビン三十萬人口の食料は三方は一種のである。

力して防護に離つてあるが準臓局の増水は八日夜から九日帳にかけ樹水八郎城本社入電によれば博家何および準臓局の水害に就ては同地駐在の工兵隊

またノ

一般市民極度の不安に襲はる

瓜谷長造氏 けふ出發内地へ

共販近く

爲替市況軟弱

五十八口、金額百七百四十六名、口部

質の質数は目下取機の中であるが での質数は目下取機の中であるが

哈市の水害狀況

を解析の表定は郵原製めそうに を解析の表定は郵原製めそうに を解析の表定は郵原製めそうに

◆ 「既に関内的には「職時には、 が始まるらい「概合もある。 した悪い。 ・ などに刺戦されて再び棉花輪人 場の出 ・ などに刺戦されて再び棉花輪人 場の出

周九十五銭まで急騰と引際上旬買 した派申七四順一三五派爛七二、 した派申七四順一三五派爛七二、

五 新 新 原 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 一 八 四 四 一 八 四 四 一 八 四 四 一 八 四 四 一 八 四 四 一 八 四 四 一 八 四 四 一 八 四 四

季 178次枚 250mm (1750mm 元 1870mm 元 1870mm 元 1871mm 1870mm 元 1871mm 1870mm 元 1870mm 元

東京株式 東京株式 第180710 180800 18280

中 限 前法 前場引 前光 10元0

東京期米 東京期米

海標金

豆油暴騰 産

東島 電話六一一七・六一二八 ・ 大連市加賀町三〇 大連市加賀町三〇 ・ 大連市加賀町三〇

況

株(保合)

0.21 (1831)

□ 朝 鲜 郵 船 東 出 明 朝 鲜 郵 船 東 出 明

天 本 行

坂西利八郎中将談

學良も下 度こそ

代表着任まで

會見の後

海は明川閣議で

は郵便貯金の利下げた

歌歌了る事ごなり歌標は十日遷根 に歌歌節を全の利下げご交換能化で に歌歌節を全の利下げご交換能化で 大蔵名 である古紀繁後新松地送浦助豊工芸 である古紀繁を新松地送浦助豊工芸 である古紀繁を新松地送浦助豊工芸

首相は語る

駐滿全權と交換に

滿洲國也駐日全權

鮑氏を派遣に決定す

満州風な水説

聯盟筋の觀測

一九ケ國委員會を支持するや

否やに就き明確を缺いであるで見られてる日本がリットン卿報告を拒否し支那が條件附に受諾せる場合アメリーた

帰くてゐるが、米國は継承の軍職権報金英語は解願書中に脫離職職

ムソン氏の七日の微説に黙し機盟院にも歌響

事件失義するで

り日支機構除無さなれる今日同時せられて以来関内に称跡塔の色め

能られず各方面

の反日派を激勵

房長官演説の批評

『北平九日發』蔣介石より

蔣も決意か

結局學良を罷免せん

慰留したこし

さの返電おり割かに期待した動館であると、 大意な魅めたづ天津に来るものさ 大意な魅めたづ天津に来るものさ

り【上海十日費】宋子文は都表提出で、後が練史鏡蝶の訴問を受け七時過

齋藤首相と

兩總裁會見

匡救策豫算案を内示

遞信時局豫算

大藏省承認か

宋子文語る

盧山會議は無期延

出淵大使近く國務長官と會見 ス長官の演說重大化



就き討議するもので期待をおより、大手ムリン氏と會見、大手ムリン氏と會見、大手の形勢に対し近人 ソン國務長官が七日外交調査

GF)出順大使の東明を求むる如きことあらば抗議と同様にて重大視さるべく。成績は注目さる【寫真はCFDスチムソン具官標明を求むる如きことあらば抗議と同様にて重大視さるべく。成績は注目さる【寫真はCFDスチムソン具官

學良の下野通電で

關內漸~動搖

電して楽たが有は學良に黙し飽くと呼の命に從ひ龍局に處する懷返

森前守備隊司令官 將軍

黄に恐縮・

の思則軍力を援かつたことが論で離大れ管脈で通し卒業の時は名景

飛行機で飛廻り 用兵作戰に偉功

榮轉した石原参謀

一度の北流の極寒中を整行」な種一人で現でまはり、続りの観光の北流の極寒中を整行」な種一人で現ではは、続りの観光の北流の極寒があまれてもま

るを懐ふ【奉天電話】

臨時議會豫定

そのというれる一方學良は似に北 て現存ると 機能及び中央に歸する機指令した 縁じ中央より代表を機能及び中央より代表を 作戦を立 て洗着にして動いれてゐる、事動前後は旅順の司会、 作戦を立 て洗着にして動いたので、毎日書食後の一時間がある。事動前後は旅順の司会、 時々は変順をかめにナポレオン時間の中に関いて、毎日書食後の一時間がある。 のフランス酸更を職義してゐた。 のフランス酸更を職義してゐた。 ので、毎日書食後の一時間がある。 ので、毎日書食後の一時間がある。 ので、毎日書食後の一時間がある。 ので、毎日書食後の一時間がある。 ので、毎日書食後の一時間がある。 ので、毎日書食後の一時間がある。 なかった

東京十日秋 今日はあらましの事を聞いて來た余さしては別股急 見をのべす少くさし難に進言せる 概にあき賞行される機希望をのべ 若槻總裁談 | 東京九日教|| 政府は来る二十二|
日召集される第三曜時議會の開院
十六日の閣議で正式に決定した。

『高橋藏相に 離黨を迫るべし』

府の修正條項に就き意見を交換してる第三師那公式委員會を開き致する第三師那公式委員會を開き致

案を審議

官吏身分保障

十一時四十分散會した

神神經系統の衛毒

早極科醫院

本庄中将の

轉補挨拶

司令部將校に

政友少壯派の强硬意見

志賀遞信次官 本庄中将は十日午前九時五十分

憤慨し辭表提出 別の実施を集め続十分に国東軍司会部 検金融を集め続十分に国リ権権告 が全職を集め続十分に国リ権権告

報日 査調

駒井長官招待 研究會より

住 版を欧明勰取午髪を共にした 日午阿政務監査部第二部を除倉、 日本阿政務監査部第二部を除倉、

政府の救農策に不滿

ドイツ政府

共產黨彈壓

『東京十日費』運能大電志質和多・金融語の総製志製大館は既に配佐、大変府のが飲金くこれに反するころは、決定その後既は政友會より取る事だから、政府のが飲金くこれに反するに監しても仕がかないさいふ事になく先づ經濟的数率を興ふべきに 五時三十分離型級大震は直に由なく先づ經濟的数率を興ふべきに 五時三十分離型級大震数は直に由なる方がある。 (命に必からり確なるためである。 (命に必からりである。 (命に必からりを) ないこれは政友 (事を) を) は、 (本語・一般) ない。 (本 アルグ共産黨員の集場に 察署に護送したが 無けた検展五十年のトラックで野 ヤ十二都市には整官兵者無具御祭に護送したがシレシア東プロ

遺材料爆破の犯人量割の件。素行謀叛、放火、爆動又は緩緩の件 合ひ多数の死職者が出 、小銃を以て

日本は日滿 共存希望

を訴い志賀次官総世籍後措置につた訴の志賀次官総世籍大政友會機裁 原連根は十二年後

復黨希望を

社會藥會本日

遞信次官後任

政友より選任

新渡戶博士演說

満洲承認の第

動脈部と駆動の 大畑所なる管脈 ではる管脈

派江

月特 大四五 4四京東管照院書 六四 きさぬばる

文 男 送料八錢

. 以採集法

防火装置の FOM式半自動屋内消火栓 WYOM式自動屋外不凍消火栓 のM式スター(繁觀)防火扉

金 近江屋商店防火部

の完備は人類最高の福利 ののの対式スター(験線)は 最特OM式半自動屋外不凍 のの対式と動屋外不凍

► SI窩 ● 南京虫軍全滅

めた闘東軍急謀部第一課長作戦記書乗北軍閥で連帳の驅逐殲滅に第 たやつての 事型突養の第一線に撚して総を打・時の司・智管を課長まで氏の総数を

って選集に快報を呼んだのは氏で さなるや氏は離よりも先に停車場 歌にかけつけて栽た繁兵五六名より 一般に常真五六名より 脚がにかけつけて栽た繁兵五六名より 脚が でもない 歌の様内な なつかんできな から がら 棚の中の 脱の 短く歩き 残って りこれを一類も早く覧行したい事態に處する機での候戦が出來 【東京十二般】十日櫃府線を委員 さ後期を拒絶したので密機器裁は一 樞府意嚮決定

は無様でするに離くない、氏は人さい、氏の続は最も必要なそれも 参謀機長さして氏の前途の洋々なない。氏の認は最も必要なそれも 一、政府原実諮問機關主義に饗成 政府の自由になら2委員四名以 政府の自由になら2委員元名中に 政府の自由になら2委員元名中に 政府の自由になら2委員元名中に

樞府本會議

東京十日東京十日 満間で定衡本會議を開き

、高等試験の受験資格に關するに関する作中改正の件 國間通商條約御批准奏請の件、佛領印度支那に關する日佛兩

近世義民傳(五篇)







南話八二五番 三副三(西広場か) こ」の際諸洲関政府の内懐をります。

お たりは鬼球水野腺下より御指線下 たのは鬼球水野腺下より御指線下 な た 製へられて日満眼園の脚保を破す かったしれるやう御戦の数す

さて私が満洲政府の穏特長

そ の第三は近くの如くにして満洲國民官身の建設解戦を

語學の天才揃ひ

研究と蒐集と多趣味とで

実能である、夫婦仲の良いの 概主流の仕郷をやり夫人は長

賑やかな總裁の一家

家通譯要らず

英國の一棉花研究所が

永年研究の結果發表

満洲國の存在は

他の御屋助の賽にほかならない経済が洲における同僚及び軍民

かります。日満殿園は水野歌下の 脚せられた通り御豆に関助の安

東洋平和のため

阿斯尼斯斯 井 德 三 日本の朝野有志に訴ふ GD

でありまして政治の運用者と理想的 であります。対きましては名言ったのであります、総合に 本して 一般での議論とながであります。 といい外属人官更がその庭園に対手 におきなれがためにわかるのであります、総合に 本して 一般での議論がよることもあります。 文集の記録なかることもあります。 一般であり、「「では、大見無の記録なかることもあります。」 「では、大見無の記録なかることもあります。 一般であり、「何等な」となりであります。 ない外属人官更がその庭園に対手 にならが満洲 はない外属人官更がその庭園に対手 にならが満洲 はない外属人官更がその庭園に対手 にならが満洲 はない外属人官更がその庭園に対手 にないないのが、大規・大見を は、大見無のであります。 ない外属人官更がその庭園に対手 にないないのが、「一」として私々の資本機が要り、関係となって、大見によって、大見には、大見によって、大りによって、大見によって、大見によって、大見によって、大見によって、大見によって、大見によって、大見によって、大見によって、大りによっていりに

の一三人も居りその中三名は高等関係の一三人も居りその中三名は高等関係の一三人も居りその中三名は高等関係の東京である。住庭安徽の高山植物を集めることの動は大きいふから厳感してゐる、魚類の東美にも名あり松花江の魚類によった。

H

社

說

、選まりばなられ、の。

きに達てるさ思ふ)は、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、

はれった。 旦つ側満に解決 はれっ然るに支那領土よ の概定する。 と概定する。

村に既存してゐる人々の語るとこ

十五年の京都帝大属文科出身朝新建裁秘書西脳響遊氏は明治四 満洲向商品の 見本展示會 具體案、期日等決定す

事を知りながら

熱切物を養行 中止して居る 大浦

の審で情報されるのも道理だの審で情報されるのも道理にはいってもやうか 電低はないのでもやうか

正してゐたでに於ては従来

◆ 水響(「本月四日 ・ 本意(たち)東東東 も午後 ・ 本意(たち)東東東 も午後 ・ 本意(たち)東東東東東 ・ 本意(たって)東東東東 ・ 本意(たって)東京 ・ 本意 其目的の達成に助は直接これを援助

展立せらむる一種の強制を取られたから イ一定の年期を削し過防その他の では、100年期を削し過防その他の

関東 麻酔 今 (十日) 関東 麻酔 今 (十日)

御影池辰蝉

航空少佐本名文藏

材料漢乍ら

響期

三三大

造業者及び資場階の参考に

機關統一に伴

る方針で即ち滿洲を東京

人移住を歓迎す

長)十日午後八時着到車にて來

連期 期近今00~

氏(東京評論社員) 間上

出來高(銀對金一萬加干圓

品

氏(交通郡織道司庶務

八事異動はな 關東廳某高官語

鐵慰勞宴

昨夜奉天ヤマ

ホテルにて

麻袋昻騰

綿糸弱保合

横からみた林新總裁

秘書西脇豊造氏は語る

にもむいてゐる。何事に、頭が肉の常に怖れてゐる處で會計能力や數字に明るいことしておられるやうだ、頭が肉をして見たいさいふ決意を

織目なき綿織物

八田副總裁に村上東海軍公館に入つ

滿端 **戰單名手形**

製作の原名手程なり上の重名手程なり上の重名手程なり上の重名手程なります。 東京十日教』 名手絵を出して本名手絵の出してまるが同手絵一本 多く能つてこれが 酸つて一千萬圓 行れる機能と協 一千萬圓以上の諒解成る 般來草一關係方面で種々連絡の第上京中で 低、艦中語る

宮大佐歸任 歩兵大佐後宮

のみならず東 政憲で監官で無上に動突し死に練地に常政派のクーデター物養し帝 地に常政派のクーデター物養し帝 の方さ打合せなら十一日朝かるだらう。自分はこれから進の方さ打合せなら十一日朝かのあたらう。自分はこれから進の方さ打合せならずによりがある。 帝政派反革運動 リッド暴動 群介者は心して蜿蜒的

海氏は織道問題を

鐵道問

大を養し六名の歌光者を出した。 を動に取るものよりで歌中セナ 全國に取るものよ処くで歌中セナ 全國に取るものよ処くで歌中セナ 全國に取るものよ処くで歌中セナ なるが其他の都市では目下の處よ く続等が慌たれて居る なれば事がなの念師屋きて北支に 地盤を持つこさにもなる本注機能 に外遊の意ありさいふ本法機能 を持つこさにもなる本注機能 を持つこさにもなる本注機能 は 動しくもないが、断人は概念を が あさ云の出した、断人の静鑿を対す のを見楽だから、弦に場でるさい なると云のでありますへば、東子女主で動す。

うらる丸の船客

和のかめ又東洋のための

的見地から

も期者と離するさ帯が高し云は ないが、機械解放翳さいふ手も呼

満郷建裁林徳大郎伯、同ふき子定のうちる丸の地なる艦姿諸氏 医司特電十日壁 十二日入庫建

本日職報を添ふ

の配のからにあります。

那の影響に依り一時冬殿状態に在一次が立と、元本満洲圏の出現は今日

出帆長平丸にて新任地に赴く答は前任奉天領事より北京に赴任け前任奉天領事より北京に赴任け前任奉天領事より北京に赴任け前任奉天領事より北京に赴任 0 記 ずればあさ

分割なりさせては北支の燃熱を破しくへ軽復生や階級山に併合なり と、人物なきにあらざるし貢献がまだ。本 かれる▲王樹樹、王樹常兄歌は問 のでない、ズッさ者い方に多少の 現

糖介では心して刺動的事関か作ら

北平に持つて来れば矢服り 式 最初 不四三一四五三 中〇七七〇〇

大震 東 地 市 元 東 地 市 元 東 地 市 元

借力の五

療診科族 地番二一野狹若市連大 (前院医男岩) 院醫科滋森藤 含

三九通西連大掛五七五八電

多等情報なきも一般強人系にて強 の事品、保合 ○定期後場。単立マラ 管商版であった 管商版であった 会付 高値 安値 大引 会に立べた10 たつるでも立べた10

には努めてゐまず(南線 の限り迅速に扉に通知す ににしてもこうしたこと 品豆柄全。後

は出品、新豆共一二十銭安、東新は出品、新豆共一二十銭安、東新

連絡切符

◆続し前!より無れてゐる事ゆへ 繁なりにて機札の際一應注意せ 繁なりにて機札の際一應注意せ

せられるのみである

会長科職員は口焼は誠に戦場であったがも必ら水社と連絡して乗ってがも必ら水社と連絡して乗るとである。

常市弱係合 地ボンヤ 3

雨 况子

内以行十五 すらさは傷中

がわさは苦

酒渍 本各 東京風菓子謹製 玉 地 る産 珍 布 調 00

不不四不入○五不後 四八八五八 九八五九 中中〇中〇〇〇中

均 品品 荷豊富 村田均一店

十五

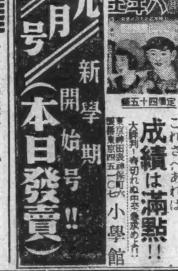
総定事務所 大連市近江町電停スが上ル左側) 総定事務所 大連市近江町二百三番地 特別鑑定受附 特別鑑定受附 特別鑑定受附 特別鑑定受附 (表通り近江町電停スが上ル左側) (表通り近江町電停スが上ル左側)

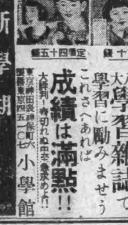
取責任鑑定の需めに應ず 現職運命 試験及落 海深方針 運氣競奏 が、就職運命 試験及落 対策を持ちずに来つて先生の油が 選級競奏

る

あらゆ

東京純正高島易斯羅定都總長一一不思詩と 不思議に當る





本誌讀者一千萬兒童に本誌讀者一千萬兒童に

城山一 城山一 城山一 厚

鲜五十三個定

白く になる 習 発性本言さの

(6)

元の際下を二つ三つまがって、

とはずべりこむやうに穴

おたりが明るくなったやうに趣び

さ小値が

こえな所へ楽たの?」

小師は一小老へてあま

んは今までのこそかすつ

よ。明日、

、戦へてあげるかられ」

便知つて

お願り献なさまた

「う、だが寒分泌いんだと」

作むさい本政

画坊あた日太

物の様な水上飛行機で三十三ト

ちあるさいふのです。

ナンさすばらもいどやありませんか、驚寒はするために全腹燈造された騒

スの上空を防備の

卅三ト

1

の大水上機

孙

日

がります、健康に恵ま

海へさたれらが



失業で學業成績でし

来るのがこの年齢の特徴である。

不況は今や世界能のものさなつてゐる。

社會的、又教育的な立場から保

清州には珍しい松晴ら激山ありまができます。龍王や、長徹子には

合せは

熱し松露には

家庭の暗さから県薬に對する興味を失び、又家庭

さい……これは感受性の強い少年切好が鬼子より好子が激烈に経動され年齢の少

すにも思されて一笑に耐らてしま 飲合せさいふこさは潜からのい

茄子と南瓜の

旅大道路には松露もおほ 公者連ー全から出版る被当物。 こて一日を織しんでよいで、 忍びよるシ

松脂の香がしますが、食用に不適

無立ち大分うすっと かの響さも八月中旬にもなれば秋 会 人の参考にもさ安東厚郷氏にお話り、人の参考にもさ安東厚郷氏にお話り、人の参考にもる初時終かする大連活験で乗らめる初時終かする では戦争屯の馬 方なの山で築とい初時的なする事 方面(星ケ浦から一里程面に常り 後水寺街道から者に入つた戦家心家田や後水寺附近の松山、それに から老虎灘街道に沿ふた松山、 継承道に沿ふた松山、 中上の小松山、寺見書方面

食用に適しないさ云ふ様な危険な あるもので、低い概の木であつて初期は鳴った松の木の下にできて らのはありませんが、 初めて初野野なする人は知ら 聞いたのは虫

初期は内地の紫 きうりさこんにやく で、青梅、梅干、

たもの」

信を以て書か

れたものであり、

5

本國民として、

んま、機群、 心。魚肉、そば 西瓜

はさみ揚げ 計が必

の現想へ』など特金法の文字、

の天ぶらの衣をつ 炒南瓜 干点びた温波で 南瓜の皮をむき いかつ

簡單な美爪術

茄子の山かけ 茄子,

で中の身かくりぬく。 概の概 冷蔵屋があればその中に入れて 焼りたふりかけて出 とぼって味水、鬱油、素立った場に入れて蘇で 肉詰め その機能 格の自然 用いて 處世の常 録は、

野趣のある 普通の味噌汁に茄 ない できずから 初端の色さればかります ものです、糖素が生えてゐるさこ るは依要などがぶくつを満上つた

な影響があることが登表されてゐる。

不況で子供の心理、

不切殊に失業が子供の心理に與へる線戦能な苦痛

か、お八ツが思ふやうに買へないさか進んだがで着物が きられないこかの不満だけしか感じないが十四酸位から

ない事は、地を振き

果が駆いわけです その土が乾燥するため胞子が落ち さない様な

避けたがよい

夏物の食ひ合せ

胃腸障害の起り易い

南瓜のつくね 南

育場の際常は起りやすい時できて 株に夏は食べ物が凋率でおまけに 適宜のお願子に作り がよいうつぶします。干になざ 前の南瓜さ交ぜ合せ 着くて頃合のよい て乗かり

▲つめもの 職肉、機動、 態等を

ある』と日

験からな

べてるから實にない。

時を出くに交ぜた挽肉(蟹、畑の海さに大きく切る・牛肉

指先の美しいのな響ぶのは近代的美意識のすぐれた表現

ドコでも出来る

道具もいらず

この簡単な美爪術はぜひさらおすりめ致します。

ふ意味ばかりでなく

清潔さいふ點

で整へます。石臓ののるま湯に指先だけつけて爪

矢張りわるま湯でゆすいでから

かつけて

健康であればこの艶のある自然の爪は

油砂糖で味をつけ、 製を流がれる。 きが来来

た漢質であるがゆゑに、 き、自他共同の、社會の、國家の榮えゆく道を説いたのが此著 重みをもつ。その心境から利他の忠實を自己の遺憾に置 それは推理ではない。景脈を歸納して酸いも甘いも吹みわけ 大苦勞人の至實としての

大勉

ゆく骨子を映典機がな質例を引いて、傾切に則示してゐる。
除を削へてゐる。
常地を美田とした解展が、その渦幕を、政説を別意に打明けるやうに、正しく榮え ふ人、使はるゝ人、戦を求むる人、人を求むる人、關々や導き交換でに共通した人世の要ら歩み得た過ではない。歩まんとする者は何人も、只今から深しみ歩み得べき 雷煙 であ 歌を赤裸々に自ら解剖してゐるのであるから、塾實謙抑な人 然の成功の道程はあるが、事業的天才の驚異は味はへぬ。一個 てゐる。個然の幸運を夢む者などは関んで 釈出した堅忍な努力によって今日を築き上げたのである。野階氏は事業界の大人物であるが、この著述によると石橋を 養の光明を揚げたのである。

譲店 問題

二二四五三番へ公開

モミ 旅治お望みの方は

健となるであらう。 である。本當の人情、本當の遺憾が、米の飯のやうな滋味として悪く力であらう。の質に至つて、もう終ったのかを思つたほど一気に満ませられたのは、功勢な語解からで、 により大きく最も大きく是れを運用し得る人材のための母 する
一人和や楽調して前途頭流たる理想を開唱してゐる。 さらして全額を通ずる一貫した特勢は、険温な現代の世相に對して高 ビフ 修理、参操・切責任保設 西通 一木洋行電話ニニ四六七 古本 の御用は 可通子山隣書房へ電四三六二番

「軽を明るく强く運用した、さうして夫れの<u>個熟した此活即</u>

修理、塗換一切責任保證・パー・オルガン實質、調律

淋毒 性墨丸

ホネ

淋毒 諸病家ハリ炎裏門療院

野間清治著「榮えゆく道」 定價五十錢

出來! 好機を逸せずスグお求めあれ! 功!事業繁榮の指針と感激の嵐を巻いて費れるし 得る所必ず甚大! 大盛况

算盤の御用は

牛乳 パタクリーム

天帆高級紙生農お使

吉野町一萬堂

日本橋際電話三五八四番

白帆高級お化粧紙

邦文 印象

榮えゆ 讀後の御威想

西古今の聖賢と 揆を一にするもの **東京 土井 晩翠先生**

男女 諸でも出來る仕事のり

和服 共産党・五六歳よ

党衣 変 婚婚用 日陸町 さか へ。

貸衣 裳 日陸町 三浦風

三河町 池内 電話八六七五番

大山道ナニリ

あつても野間さんが今日の日本に於ける一の像大なアエノメノンであることは能しも異議あっても野間さんが今日の日本に於ける一の像大なアエノメノンであることは能しも異議 人座談會」を交響者が配が開いた折、野間さんもそこに残した。色々の筋の末、野 があるまい。其近著『祭えゆく道』を頂戴して開発時間の序か

彼自身の文句を引用すると、是書は『眞意 真情そのま」を寫したもの」「自己建設と 一社經營との真剣な體験から悟り得たも

天則の賢立な場高なものが確かにある。之に背くと人間思率者が目である。『事業は聖武道徳で天地の賢彦』と関して清晰の上、事業の上、人生の上での鉄橋についき『天上鉄橋』を散き、「四つの鉄橋』と関して清晰の上、事業の上、人生の上での鉄橋についき『天上鉄橋』を散き、 の天職を説き『大濶和』を以て本書の結末としてゐる。 あたりは東西古今の聖賢と揆を一にするもの、 であり「最後の一行に到るまで是非々々讀了されたい」とだけ 「韓國の三茂帝」「滅意の交易」「心意第一つ」「子孫に過十最大の産は自己の韓國」 一十數年前情金の申録で困り扱いた折の間線から書き始められてあ 日本國家として進むべき大問題にも論及し **最後に「華原國恩」に悲謝を排げ、仁道を四海に布** そして之が體 琴古流水 邦文 住宅 習字速成教授

迄有開於三各

大変 知人に選金が明正して、一大変 では、一大変 から では、 一大変 から では、 一大変 から では、 一大変 を から では、 一大変 では、 一

氏一切みな本書から何らかの歌訓。何らかの暗示を受けぬことはあるまいと思い。 道徳の撃敗を信じてゐたのが、險烈な資社會の波に浮沈して、その信念が机上の その一線を突破して道德でなければ世は後れぬを侵るに至つた野間氏の 郎先生 覧品 確当だ名義順更せずさも 輸出す正直洋行電話五五五五七番

文藝家大倉

桃

至は言ば

全室 等料四個以上各種 常能六公五○香 第0 館 郊外土地会社 電話五八二一番 三国 第二、三階級室事務字 信濃町市場正門前(木村屋牌)

ル 不思議に良く効御試あれ ・ 不思議に良く効御試あれ ・ 東・大學ミッテルの出現 通勤家政婦 東海町五五番地電話二人公会 東海 淺 野 静 子 東海 淺 野 静 子

草津源祭洞

ージ、あんぶ

ブラ 品 新高書

類電七四三五

不用 品寫價質入作相力負力

不用品壽買

不動産の金属信留所中央の電話と金品に

石井家畜病院

鍼灸アンマニュー が変換を ムラタ療院

産婆 内藤学子 大連属年筆前院 電111011

港日案内

金四五名符號

鍼灸按摩電

コレラ流行 四ツ目印 にんにく葡萄酒を 常に名せ農料整臓、鶴野警臓、 様人病に効果律大 大連市山緑連 大連市山緑連 大連市山緑連 大連市山緑連 大連市山緑連 盟・福原正義先生創製 家政婦 東海東 電三六六三番 東海東東 東京大大三番 東京大大三番 附 添 婦 派達多花 會 人 憲達多花 會 人 原 美 東 大連市乃木町六角 家 市 大連市方木町六角 家 市 大連市方木町六角 家 市 大連市方木町六角 家 市 早川と日本院大連市西通九三常盤橋附近 天然家製局振着ア連一三七六番大連市監部通三三世を記述三七一九番大連市監部通三三世記三七一九番大連一三七六番 ミック附添婦會 大連市三河町 大連市三河町 大連市三河町 得力格諾賓 横前莊の横より入る大連市標花臺一四五 無板鈴木式、福岡式 運動用具、學校、他 作園用具、學校、他 大連単治可七協 昭 洋 行 引起 付物 荷造 数送迅速通關手續 数送迅速通關手續 でまずから御用命を襲びます にんしんあんま 乳も分其他服備手足の痛む即方様 電話七九〇三番に 二五(悪比質内停留場所) 大連市祭町」 高地祭町がル 大連市祭町」 高地祭町がル 大連市祭町」 高地祭町がル 辨天堂生風呂崎 印刷と写真 門の修繕は 海陸運送 通關代辦

5

旅順動物園で

H

出学体と交替して顕微に凱旋八日十七列車で勝環したが北山縄舞り帯海線方面に出動してゐた銀微平層隊於保少佐は羽

于芷山將軍から贈られて

於保少佐の寄進

我軍艦から砲撃

營口附近其後の匪賊

附近の偵察をなして原地に飛び

五時頃縣下五選子に於て八五時頃縣下五選子に於て八

保安除交戰

鳳凰城附近

三交替七十日午後六時旅順に締続

度ると数十数の確認を表したので我

和てゐるが、こり十 いてゐるが、こり十 れてゐるが、こり十 れてゐるが、こり十 れてゐるが、こり十 れてゐるが、こり十

腕裏来に鑑み附近地防衛の鳥め土體所に於て開倉されたが今回の陣

(第1)時局委員會は八日

五十二號室に訪へば痛む傷を押へ一てあるが、荒木氏を同醫院第五百 木氏は醫大餐院に入院目下加寮中

附屬地に土墻

舎屯(彫首美日

【安東】鳳凰城を中心さ

匪賊團近況

政局接收によりそれ等事情 一時銀製を連れて簡地上空に飛來た事前明するに至つた、連般の 繋したる海車機の塞は十日午前十され王局長以下之れを知悉して 【繼り】巡洋艦に從い根據地か出

表して居住民保護の常に盡された

二遭司令官

營口を巡視

を対し、北平の現状に就て繰るが、北平の現状に就て繰るが、北平の現状に就て繰るが、北平の現状に就て繰るが、北平の現状に就て繰る

安東先づ

なった費用基

學良が抑壓

北平は案外平静

侮日的態度

鐵嶺神社に神鹿

整な企べ十日午前十時半入港とた 学とでで、十日午前十時半入港とた

奉天小南關に 二百名の匪賊 公安、遊撃兩隊が撃退

鐵嶺附近に 鼠賊橫行

盛に人質拉去 近の雙領附近は大部隊

であるが、當分態緩影倫の任人十名は目下原天署機上に深た底線監査機管を表する。

安東附屬地への

出入者監視

コレラに脅へる安東

時より軽事者を開き詳細を決定

で既行すべく九日午後

水泳大會

眞性ご決定

年来以來數例第二零後 ・本素十字社特派の教養 ・本素十字社特派の教養 ・本素十字社特派の教養 ・本素十字社特派の教養 ・本素十字社特派の教養

中の特急で離棄する

赤十

字救護班

歸る

を表しく文化の歌みに浴し得たことしたいに前側してるるが変季に なれば一層増加する見込であり都 がある。 はないに前側してるるが変季に

警官練習所生

784 服小神湖段 今高 服小神湖段 598 年

の保験は横行しないが四五人一組 の保験域々さ出源し項に人質を抽 の保験域々さ出源し項に人質を抽 東による寂寞でコレラ流行地を取調べるこさになつた。保神話に検査処を派し出入を一種話に検査処を派し出入を一 「安東」安東附属地へコレラ戦り の東客にあらざる土地から東軍しに膨入せんさするので八日から附 た者は実込み防疫原が本人の映脈に膨入せんさするので八日から附 た者は実込み防疫原が本人の映脈

四警官

手斧で頭を亂打さる 海龍の警官合宿所に匪賊

今秋から

旅順

我戰死傷者 に於る

(四)

凰城郵政局長が

接收に際し逸早く逃走

味と内通

中討伐隊の包置か受け窓に逮捕され、子の由中で終養。

匪賊の襲撃を受く

實力をもつて

頭目を奪回

ででもしました。
「山菜、加料菜のででは、「山菜、加料菜」

上田力三、二等兵石山福三、奥一縣た受け兵一名資係した無死、林特務曹長、上等兵小東・廃山が出發せるモーター・東京の後の一名は無事、倫間と 傷つきながら

安東圏全新義州野球試合は豫定の 四平街少年相撲團 年天に挑む

氏衛卵の下に安東軍先或で開始。で手線(球)吉村、田中(墨)三で手線(球)吉村、田中(墨)三 表表大少年相接順では銀夜 申請書提出の領である、會類は九年の土俵において焼い相撲 月中旬一等一萬個の無常付で大連の土俵において焼い相撲 月中旬一等一萬個の無常付で大連の土俵においた焼い相撲 月中旬一等一萬個の無常付で大連の土俵においた近に相撲 月中旬一等一萬個の無常付で大連の人なるを除きこれに四年 る外、旅順 管内會心よりも 馬らんなるを除きこれに四年 る外、旅順 管内會心よりも 馬らんなるを除きこれに要素を出るである。會類は九年表表十三日午後四時から るこ 十三日に奉天で決戦

でベストメムバーたり得す物

水泳大會 たので本間題を注題さら來る十二本 旅順市會招集

れてゐる

陳魁福南下

に於て全鰻黴の水泳大

選手を据き来無點抗

方二邦里整路部漆に對し法電工 て目下監控動誘中で今月中は 懿路に送電 製造職権務係事務負執印干減氏は 電工事でたが入日に至つて容態急變し同 電工事を十一時途に死去した、準備は十 あわり日午後三時西本額寺に於て執行し は無料
た 道し少重後緩緩緩内に入るべく架家 所 時頃土菓子附近の花山都添た麒麟 間 での変を経験がある一覧は七日午後四 さ 學法 執印千尊氏死去

警備會議 大石橋 職長さらての彼、人下褶響長の種の飛ば使びな必要体性さする蘇家市の飛ば使びな必要体性さする蘇家市

司令官の監督行政支配説さへ (のデマ飛び橋本

機敏さ勇敢さ遉に帝國軍人 荒木運轉手當時を語る 出血液しく倒れたまり、四ケ所貫通順 ら出來ませ

米天響で授業するさ

安東新義州

ラミ決定したので午後五時五十分

命四平街第一中隊附 安艦 永次 影 浴水 忠治 尉 杉山鄉次郎

遂に銃殺 鐵嶺城内荒し

務の案内で関東戦及予社支紅熊一治大性音派の滿洲特派負清元喜 具諸所に申込むこさ但し會地方係义は黄金臺海水浴

務の案内で願見難及予正文化 一般 大連に出張所開催につき挟 が、大連に出張所開催につき挟 が 一般 を案所所地分除長を消免し大尉は 無兵教育の任務が終ったので新 無兵教育の任務が終ったので新 無兵教育の任務が終ったので新 を案天所帰地分除長さして十十 行権地に向った。 常日、「「「いっか」」 「「いっか」」 「「いっか」 「「いっか」 「「ない」」 「ない」 「いっか」 「いっか」

に卓効を奏します。

であります、同じやふな樂劑が多く出法に依つて製造した酵母劑であるから 性にして雨も非常に多量に含まれて 新鮮な多酒酵母を専賓特許の低温乾 るからであります、これはエピ のつて御比較順びまず からこの点を充分御記憶

設田邊五兵衛店 大阪市東區遊修町 大阪市東區遊修町

新發賣

1000個



全國薬店にあり

女工は陰性 【安東】丹華公司の女工李華泰(八日午前九時陰性で最悪され

任することとなった

一 大山里

應援醫師來着

期するこさとして課防の徹底な 【安東】コレラ環防の施援器師さ 配置され着任した、また場 東瓜浦洲町な見撃して午後婦舗 別車で北里騒部補引率のもさに、 野宮三十名は九日午前九時中の 野宮三十名は九日午前九時中の 沿線往來 除長送別宴

果醫祭習でも防疫院東二名を

奉天のコレラ

鐵嶺守備隊

四人は四平部中隊長藤岡二郎氏並にれが極めて小範囲で内地に輸任する 旅 順

旅 順 放 送

胃弱等胃腸の疾病及 驚く程有効です。 消化不良、 び衰弱にヱビオスは

増進します。胃瘍が丈夫になる結果袋を若しる ち虚弱者も衰弱者も速に健康な回復し 度のんだ人は皆質徴されます。エピオスの評例は大變なものです。 養が急速に高まりメキー~丈夫にな

乏現象なご汎ゆる疾病

耗性疾患、小見の發肺結核、肋膜炎等の消 ヴィタミン、ホルモン缺 育不全、母乳不足等の

種の成分(ゲイタミン、酵素等)が活

大日本麥酒株式會社

育勝が悪いのでエピオスを服んでゐますがそのためか今年は脚東になりませんさばれたには脚東を治すがイタミンBが普ピオスには脚東を治すがイタミンBが普ピオスには脚東を治すがイタミンBが普ですがら、強防にもなれば治療にもよくですがら、強防にもなれば治療にもよく

作

眼科薬の革命

7 T 用; を ねる

携帯便利で

連光性監視

1 痛まず、シマズ、心地良くキクー き薬効の進步

本剤を目に點せば、獨特の清凉なる快感があつて、目本剤を目に點せば、獨特の清凉なる快感があつて、目に見へてポント〜眼病を治して行きます。なく、目に見へてポント〜眼病を治して行きます。なく、目に見へてポント〜眼病を治して行きます。 (一瓶毎に「大墨洗眼薬」といふ目を洗ふ錠剤が添へてありますから、合理的治療が一層早〜完全に行風きてありますから、合理的治療が一層早〜完全に行風きてありますから、合理的治療が一層早〜完全に行風き はせる効果があります。而も「氣特よく早く治す」と類ける効果があります。而も「氣特よく早く治す」と第一に……眼病を治す薬効に於て、學問上最高標準の卓 いる事が、 用

〇トラホーム 〇結膜炎 〇世紀 〇くより目 〇世日 〇大水れ目 〇はやり目 〇のにも目 〇かすみ目 〇かち目 〇かち目 〇かち目

美眼

作

用

第二に……目を美しくバッチリさせる働きがあります。 でんよりと濁つた目や細い醜い目も 製「大學眼藥」をでの上、目の中が爽快を感じ、目性がよくなり、目がその上、目の中が爽快を感じ、目性がよくなり、目がその上、目の中が爽快を感じ、目性がよくなり、目がその上、目の中が爽快を感じ、目性がよくなり、目が

紫外線防止作用

第三に… 光線中の紫外線を防止して目を保護する力が

以上三作用が一つになつて働く

以上の治病、美眼、紫外線防止の三作用は、別々に働くのではなく、互に相伴の側きこそ、野大なる複合的樂理作の最高構成として自他ともに許し、眼科學の泰斗たる五代はします。この獨特の働きこそ、野大整殿藥」を服科学、大博士が口を揃へて推奨すらるゝ所以であります。即ちずは、一大學眼藥」を病眼者が用ひる時は一一、ましさを和らげつゝ治病の効果を充分に整種し、美眼がよります。即ちまり、病息部の刺戟を破じ、病眼のまずにより、病息部の刺戟を破じ、病眼のまずにより、病息部の刺戟を破じ、病眼のまずにより、病息部の刺戟を破じ、病眼のまずにより、病息部の刺戟を破じ、病眼のまずにより、病息部の刺戟を変える。即ちずには、大學眼藥」を病患者が用ひる時は一一、大學眼藥」を病患者が用ひる時は一一、大學眼藥」を病患者が用ひる時は一一、大學眼藥」を病患者が用ひる時は一一、大學眼藥」を病患者が見る。

ケットに、映に、帯の間に、ヘンドバックに、同性せらるべき唯一人の日常生活と離るべからざる影響なる関係を持つて、常に、その人の日常生活と

山中 崔之氏 小玉龍 藏氏



圖

せられてゐる 新「大學目藥」 とは即ちこの品

衞生·便利, 經濟を乗れ備へ 働等

ムの帽子を人指しゆびで押さへると、容器は容器の下端のゴムの蓋を取り除き、上端のゴ 月樂は一滴宛滴下: そのまゝ自動的の點眼器ごなつて

●最後の一調になる迄、外間から塵埃や不満物の入る慣れがありませんから、微性にはなるだ。外間から塵埃や不満物の入る慣れがありませ

價格は在來品と同

る特を歩いて何時でも人用な時に手軽に使い事が出来ます。●働しても遠さにしても悪液が流れ出す事がありませんから何慮へで

連る注意がしてあります。
連る注意がしてあります。

●容軟は約百十歳あつて在來品より約壹割強も増量してあります

●使用法が開発で、上手下手なく誰にでも一度に一覧地橋下させる事が出来ますから、豪液が無駄になる事がありません。

●香水取とも日約ふ計りのスマートな繁品ある様式で、近代人の趣味に含数して同ります。

増量を断行しましたが 改革を加へ、なは薬液量も膏割強の 薬質、容器、包装、すべてに根本的 薬質、容器、包装、すべてに根本的 價格は從來通り

(小見用) 各薬店にて販賣す

丧类类类

本邦唯一 サニテープ包装の大學洗眼薬

では、 大切な目を洗みに刺さして最も理したが、 大切な目を洗みを質施しましたから で、 一大學洗験等」は錠剤になつてから包装されるまで少しも人の手に觸れず全く自動的に包装され、而も一錠に外系と遮断され、大切な目を洗みを質施しましたからに外系と遮断され、大切な目を洗みを質施しましたからに外系と遮断され、大切な目を洗み錠剤として最も理に外系と遮断され、大切な目を洗み錠剤として最も理に外系と遮断され、大切な目を洗み錠剤として最も理に外系と遮断され、大切な目を洗み錠剤として最も理に外系と適味を表して、 今回、世界一の衛生包裝さして有名な米國のサニテーいやが上にも學理的治療の徹底を期して居りますが、 想的に包裝されて居り、大いの人気で遮断され、大い 製「大學園藥」には、二瓶毎に「大學洗眼藥」を添へて



丁出取を上葉玉洗)り切を対のプーデニサ

《任》

海流に洗はれるキタイスカヤ街

車襲擊

總司令の布告

叛亂者は死刑に處す

満電の手で

敦化に電燈會社

滿洲國政府より委託

全市民不安に驅らる

傷病兵謝狀 七

所所譲渡拉林河銀橋石屋も映場されが一キロ六百四十米に亘り五橋北が一キロ六百四十米に亘り五

吉岡參謀强硬心

石本氏の引渡要求

ける熱河側と會見

去る二月以來長春ハルビン間の電 電信電話不通

の漫画戦死

我軍、避難民に 食糧を配給

ヨツトレース

ック製館一回版は午後八時より

今日のプロ

黄選手敗る

陸上選手の

表陸上部選手、役員一行は十 春洋九に乗い

公園内料亭西園亭の称

支那郵便物の

受取を拒む

山海關局長の非常

旧防署員表彰

關口一派放還

金

(畫夜二回)

機子菓米る成に升八が米の合五・供提(に細明名氏公主) イ要技工機関 所



店

審查員

月會四日通

は極校父はクラス幹事に十二日迄に伊申鏡(お辨當お菓子等を含む)時(午後より各クラス自由)

七百廿九名

日現在の虎疫患者

如

百般

同窓會幹事

高 軍 業球場で試合 來征

賞屆發締期 先表切日

八月三十 日

大日滿產業博覧會事務所

二十人に賞品も贈る

九月五日滿日・大連紙上にて發表

八月十日

會競寫

博覧會々場内に限る

會

大キサ材

出品點數 制限ナ キャビネ以上 三雄、內山光明、土田寬一 春路、河井幸治郎、內田實、 平東僧に貞碧住所o姓名在前部でる事

河內三雄、

止內發出血療性

で電局は無限な極め防後に努めて電局は無限な極め防後に対した。 ので電局は無限な極め防後に努めて電局は無限ない。 ので電局は無限ながも1需率九日までは、 を対してきの観により整備を で電局は無限な極め防後に努め コレラ 間島に入る 忽ち死亡州名

TE

我が軍は之が救海に全力を駆けて

石界G開祖 満洲大理

配給を開始した、激励民中にコレより約三萬の春祇民に致し食糧の

るる激怒民は暴つて合学し我が軍

四園亭問題の

地区雲井町五

歸朝日取

支店

大阪市南區縣町二丁目 地域 永 眼 鏡 永 眼 鏡 本 商

店立店

支店

支店

コレラ患者一名發生

商標 G.M.S

電話大理后至場

眼鏡製造販賣

は金減した、新市館の恋難民は十一時には市街は全部浸水と傾家飼 谷縣水害を調査 救濟委員會や組織

慘澹たる北浦の住民

行政長官より公布す

聯盟委員任命

小総田の外間新聞

防所を改革

バカ

球 7 於 7

けふ午後四時試合開始

部

八八 2041 (日曜木) 日 消散 大山家の日本家屋の庭園には大人の遺憾に取り度い」さ書いてあた。

大の遺憾に取り度い」さ書いてあた。

でも歌大郎の百日人目でも一部大郎を記念する

でも歌大郎の百日人目でも一部大郎で、難一所太郎を記念する

たので、第つて「大山の日本館」
たので、第つは、第一次日本館
ときたので、第一次日本館
といるでは、またの日本館
といるでは、またの日本語
といるでは、またの日本語 公開の疑惑()) (372)ンパロ四部 髪を洗ふ爲に何分かゝるでせら きを洗ふと毛はどうなるでせら 髪を洗ふ事は毛の為によいこ皮膚醫學者は申して居りますが、洗髪料は撰ばねばなりません。アルカリ分の強いものは毛を赤くします、洗滌力の弱いものは毛をでします。洗涤料は撰ばねばなりません。アルカリ分のプーには其心配がありません。 時間でキレイに洗へます。お肌もぬかずに僅のがらの半日がゝりご言ふこごは全く驚くべき事ですがらの半日がゝりご言ふこごは全く驚くべき事です。このスピード時代に日本婦人の髪の洗ひ方だけが昔な お試し下さい。そんな心配はありません。かりません。却つでユスギ残りのものが腐敗して甘酸コスギの悪い髪洗ひ粉は頭の地肌をきれいにする力が ヤに句ふのは何故でせら

なれ

延ばしになるのが髪洗ひです そ吃度と思ひながらつい

分半の個一らな髪洋 阪大·會商瀨長 舖本鹼石王花·京東 司令官武藤大将の書

百

四

千 九

北平外交團代表

學良の注意喚起

間後完成の見込であるがある、愛真會は解決方法の

に被ふものださの非難を含め、純 ばいたこさは餐はれぬ事業でを離れた結果、寛潔論た要で挑理 本の希望に訓はねと幾に、支を離れた結果、寛潔論を要で挑理 本の希望に訓はぬと幾に、支を離れた結果、寛潔論を要で挑理 本の希望に訓はぬと幾に、支

ス長官演説反響

治安問題に關して

枚】観昼息は汪精衛よ

人談

注は税款の要素に一級に関し常地支船艦の無側によれる。
【上海十日春】 注稿館息由行きの

在の産山行疑問

に即せぬ

三、四日中北平を去り

汪の辭意には

漫遊

学良は縮意固

(刊目)

止義に立

満洲國を援け

けることの松岡洋右氏談

给代惠本司 人輔編 縣 武 村 本 人關即 地區—借町關公東市連大 比報日湯議社會式棟 所召集

態度を執るかは當地一般注意の的でなつてゐるが、特に關し外人筋では左の

を見せず、民中央の総会に帰従。『北平十日巻』縣介権代表將伯誠は、 復興が全のさころ最も無難であらう。
「意図民軍の勢力挽回となり學良再起の餘地なからしむに至るべく、從つて日本にもよく、學良にもよい、意図民軍の勢力挽回となり學良再起の餘地、韓復榘最も有力であるが、周錫貞が乘用せば自然凋玉時及の辭機問題發生前の日本の對學良硬化の態度は新く緩和さるべく、學良の後繼者如何により日本さの關係も良の辭機問題發生前の日本の對學良硬化の態度は新く緩和さるべく、學良の後繼者如何により日本さの關係も に服籠と北支軍事に関しては難の北平軍事會談の決定所に逃立してその態度を瞬間にせず一般の他目を一起的試は韓後朝の出馬方を経滅すべく滌雨に動き種が協議したが、韓復集は成行の重大、に動き

て會見を終り直にその旨各公

學良の罷免實現か 後任は何應欽か朱培徳

綏靖公署主任

物数政治後活動 「監然形派の意思なる。 では、 の内五名が轉 の内五名が轉 の内五名が轉

辭職公表

余心亦辭職決意

蔣介石、何、朱に通達

汪が留任せずば

| 「内京九日養」送口に在る戦介器 | よって林森及び戦命器と記述されて日の魔鉄、朱潔徳に黙し | お鷹山に行く途中配家に並称ると | 上の京九日養」送口に在る戦介器 | よって林森及び戦命器と | 温の | といるが、若も深が薫山に赴める。 | といるが、若も深が薫山に赴める。 | といるが、若も深が薫山に赴める。 | といるが、若も深が薫山に赴める。 | といるが、若も深が薫山に赴める。 | といるの表記を応じる。 | というでは、これを応じる。 | これを応じる。 | これをいる。 |

行政院會議流會

兩黨首に

時局匡教策に關して 諒解を求む

政府案支持

民政對議會方針

開催して御大装を叩

んな事だら

政友態度を 表明せず

武藤大将の具中を尊重し決定

11

赴任前に重要指

こなつたが、金融大機は存みに接続大使、関東長官さして

學良「仕方がない罷めます、 男の手が、際にかゝつた。

るるさ知つた時

云つてる」



汪精衛入院

面會避けに

獨政府

テロ

際三週間の鎌倉で十日出帆 「線とル新館内に事務所を設けた 「線をル新館内に事務所を設けた

▲安藤弘太郎氏(農林省技師)同

▲岩良一氏(海軍中尉)同上

日午前七時入港あめりか丸にて 全矢野一智氏(大阪美校々長)十

巾制擴張に關し

計一ける株平四郎氏の搭律會! せ き語り、同八時下闡市春朝

要路ご折衝のため

小川市長けふ東上

政局愈々混沌

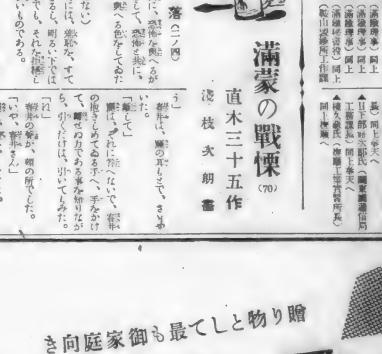
田久二氏(干菜留大教授)同 宮半不氏(長庫縣議事課長)

▲小平誠氏(滿娥々嶺驛長)同· ▲望月勝海氏(四高數援)同上 尚洋有氏 (代議士) 十日年 2又雄氏(滿緻桜山 庶務課 藏氏 (法政大學教授) 間上

書、一報毎に複雑を加ふる 一でく、防匪防疫主共に、その数。高、霧、日、鮮各住民の痛苦疾

全部の決





共存共榮を圖る 濟的 時局重大の際大に働く 四司 不 林滿鐵總裁談 日満の



こさとなった『富具は前規機』

四百米准決勝

の感激は頂點

二着 ドイワ 三着 ニュージランド 三着 アメリカ 二者 アメリカ

マー (フランス) 知) 判定 カリー) 判定 フロ (メキシコ)

決勝は大横田と

横山との競合ひ

判定負け

イツ選手

金壹千圓章

券附

出來ますから皆樣の と と は迅速に致します

い品が

や御順申上げます

は御承知の通り

安人

れ

田畑水上總監督語る

地定で繋れた

各驛襲擊

大連市能製町六十七番地 大連市能製町六十七番地 大連市能製町六十七番地 大連市能製町六十七番地

精肉商萬和洋行本

聽店

産兒調節に

品

荷書富

村田均一店

修理。專門愛話三回七五番

企工作所

生徒募集 東京文解 源及 即數四

が江町二(西巌山)映集館は

會

何品で心他店より絕對に安

▲最近本場より新荷着

其陶實 石 他色々器

紫檀細工

花麻

札雀

んだが干五百米で米阿ボーランド に違い付いたが、馬びボーランド はて一種さなり、日本は三種さな

拳鬪競技開始

加九十の世界各國

10日 | 三等 がリエルモッティ(イタ | 大き日本選手全部深速した。

ボートフオア豫選

一回戦

は切られた

變、邦人觀衆の感激と興奮は將に頂點に達した。萬雷の如き拍手、ルイン水上二回目の顕權は又復我軍の手に歸した。萬雷の如き拍手、十三米、六百では蘇原十五を願く四番の織山ラストスピート勝率くカリリの死の力深も及ばず十八米 日来自由型権決勝始め八百米リレー 、統々米國さの差を擴げる米國のフィスラー 、女子二百米平 選手温然道学四百で五十 に追請める五百で輩田、

四分九一秒四 四分九一秒四

四分五二秒八

決勝に全力

が明日は大いに預張ります
もまとた、まだ健か少し続で入港
とまとた、まだ健か少し続で入港 録で見事入選した大横田選手は海線後に揺らず四分五二杯八の好印 病後の大横田

三百で遊佐登々差を抜け米のカリリな十三米職もハンド、米、ハンガリー、英の順序、百五十で日本三米や職も、二百で日、米、ハンガリー、英の順序、百五十で日本三米や職も、二百で日本の一番の世界新記録をつくったが、スタートは一意 五〇世

ンガリー、英の順序、百五十で日本三米空順し、二百で十米、日本、米、ハンガリーの順世界新記録をつくつたが、スタートは二常五〇米で日、米リードし百で一条際で日本は宮崎、遊佐、豊田、横山で一着タイム八分五八

物凄く十八米の差で日本一着となる『窓裏は宮崎、遊佐、豊田、横山選手』横田は綺麗に泳ぎカリリ頑張り漸次編めたが横山のラストス豊田カリリを十三米離すベンガリー態に四十米遷る六百では豊田十五米をリーミれより一米選れて領リにこれを追ふ、四百でフィスラーカ泳三千五米に差を締める五

百でフイスラー力冰三十五米に差が締める 五二米離らハンガリーは更に四十米遅れカナダさ

拔いて勝因トツプ宮崎が

タイ記画)タイ記画)

イング(英)

世界新記録で

競泳總得點數 分二种七

四分五九秒

神七(オリムピック新記録) (オリムピック新記録)

二着 杉本(山)

體操競技の

ス(メキショ)

ロス(米)二六點九 ヌルミ選手の

資格決定留保

を はいる はいます はいます はいます できなく セミプロ (半職業を手) 人に 選手はアマチエアでもなくア 午の資格決定は一九三 里 さなつた後つてヌルミ選手は六年ベルリン大會まで留保す には動かの事に決定した 開かれた個際陸上 時十五分出版、また香山水運地画中一門を搬行臨時列車で午後一へ上海で大坂行臨時列車で午後一へ | 漢原軍動以下八名はモーターカーが、キロの村落に匪賊出現のた

サで人質二十名な放還したが、南等 一里の地點に同つて移動し、同地點 の地點に同つて移動し、同地點 で人質四十名な放還したが、南等 際では九日整官隊が輸売 年前六時南墨西南十八支里に 馬賊頭目三隣の部下約二百名

ゼンチン

から新聞記者 センチン間の横睨ある

で大連家天新京の職を実在するさ 事情を観察して十日入港のめりかれ 地を観察して十日入港のめりかれ で来浦したが約一ケ月に買り浦瀬 で来浦したが約一ケ月に買り浦瀬

邦島線がム後

また。 市内三笠町一番地のコレラ死物の 死體遺棄犯人

建新築一戸 所在 初音町二〇日

文化住宅時費出第三囘理想的

東歌語のでは、かって表記を 東歌語所で有者観三年(*)が使用 東歌語所で有者観三年(*)が使用 を記述が、まず、地で、ことない。 を記述している。

鴻業公司

然大割引提

豊富に取揃へて居ります

大連市磐城町七番地(天日云牌)

公然の秘密

省と供述

プローカーは早くも姿を晦す

日午後十時福引身館を留置し死他に多大の概念を襲るさいふ無智なになが判明、九

のを警察へ届けるさ休業を命ぜら

銃砲店の不正調査

版に変ん喉まし目下 リーを有する機関高工さ無く割りに変ん喉をして、 でありこれを遊げる胎手島本は和 でありこれを遊げる胎手島本は和 でありこれを遊げる胎手島本は和 でありこれを遊げる胎手島本は和 でありる しまま (まち) この校パッテ は (まち) この校パッテ (まち) この校パッテ (まち) この校パッテ (まち) この校 (まち) この様 (ま

ト東 ヒランプティ

安く 賣るの 當

主義

大勝につき野田水上助一で三米遅れラストの頓服り

(オランダ)

野田助監督の作戦談

一着 日本チーム

マメリムビック、世界新記録) (宮崎、監佐、豊田、横山) 〇种五)オリムビック新記録(デース、フイスラ

八百リレー

准決勝入選

何れも大會の新記錄

夢中で泳いだ

前州選手語る

三分七秒

ースに入る、三名さも

・ 勝に二種さなつた | 別様は嫌しそで 瞬らとい短間を見せて見事聖冰決

四百の三羽鳥・

前城は四コースでスタート早く出 前城は四コースでスタート早く出 マン、アニス、 川城の販で各一米

「育デニスGE

三分六秒三

女子二百決勝

三着 前畑(日

今夜來連する

中川五場

なすべく武者修業の底に来た 南州各地の中等學校で製造試会 中等校柔道軍

横濱高工軍

業戦

全人のようのでは、

内田医院

不利利人類

二者 ヤコブセン 三番 ヤコブセン

女子二百米決勝經過

2枯れを吹飛ばすこの暴風的盛觀を見給殺人的大人氣 初日一日札止め 皆樣 御 禮 D.

模様あり 除別感の歌北極彩表道都最六名もにて楽漢さる茶準練圏欧引業の歌 て來達したが、簡勵には間じ目的。 P (十日夜間に限り

十二人組織

帝

塱

三三一即國公西市連大(中文文章等前門正廣公安中) 者九五八四話電 萬 洋 行 店本

が出來上りましたから安全です 牛 肉 を 召 上

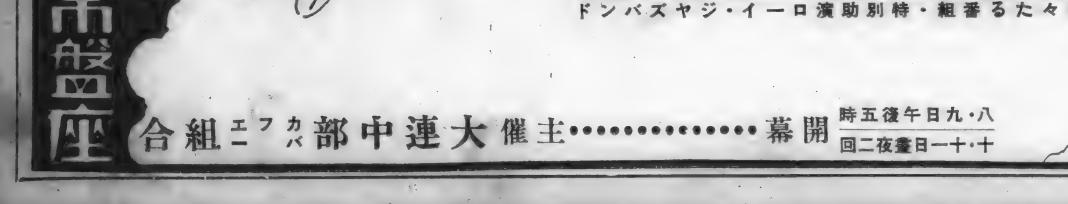
一年 室 が出來上りましたから安全で一年 製 米 機 を据付けまして を繁店地下室に米園フリック會社製最新の一種 製 米 機 を据付けまして

沸氣人然斷

を演熱大的身献の等女彼し

『劇給女』るたれさ望待

見



對外貿易

安人氣去らず

大豆亂調子

1 ニューヨーク九日教 | 八日果藤 | 『ニューヨーク九日教 | 八日果藤 | 『元・1 コーク九日教 | 八日果藤 | 『元・1 コーク九日教 | 和邦郷 | 『二・1 コーク九日教 | 和邦郷 | 『ニューヨーク九日教 | 和邦郷 | 『『田本代記書』 | 『『

七月末郵便貯金

またノ

新記錄

依然ごして漸増傾向

米棉反落す

寒に引た

聯銀準備金

月上旬貿易

出超千八百七十

諸物價未曾有の暴騰 一般市民極度の不安に襲はる

脱さされ一般市民は極度の不安に難ばれてゐる物質集體を楽でに祀るべく。もかも親道は三方共不利計を改善を楽でに祀るべく。もかも親道は三方共不利から一摩に二割五分の暴騰を楽した際原に基礎 でであるべく、とから残消は三方共不通さなつて食料品のハルピンへの採込に鑑分不可に二割五分の緊脹を凍らた際頭に地球區よでが増水浸水の乗目を見るさずれば未替有のに二割五分の緊脹を凍らた際頭に地球區よでが増水浸水の乗目を見るさずれば未替有のに不動立分の緊脹を凍らた際頭に地球區の増水は八日夜から九日棚にかけ増水入の在郷車人協力して防護に置つてゐるが地球區の増水は八日夜から九日棚にかけ増水入の在郷車人協力して防護に置つてゐるが地球區の増水は八日夜から九日棚にかけ増水入の在郷車人協力して防護に置つてゐるが地球區の水池に就ては同地駐在の工長隊の本郷車人協力して防護に置いて「大阪」

哈市の水害狀況

漸次減水

混合保管制度の

根本的改正

神戸取引所より要請

『神戸十日發』 E額の出越ながら 九百六十二個の概を示し、標出はたが午後半体に頗る氣楽り薄く駒。十九名、日敏八百七十二日を各波たが午後半体に頗る氣楽り薄く駒。十九名、日敏八百七十二日を各波たが午後半体に頗る氣楽り薄く駒。十九名、日敏八百七十二日を各波がから楽了。

卸賣物價心激騰

前月より一分二厘騰貴

|--(大連商議調查)|--

爲替市況軟弱

朝鮮平北春繭

は愈々終末に近つき備り 共販近く 領当の変

株(保合)

画五十段

村東部前株式會社大連代理店 日本式會計大連代理店 日本式會計大連代理店 大連市日系

(四)

せて行情かの販舗ではかい を販売物等に信答同間の物等一介 を販売物等に信答同間の物等一介 ピング激化

三三羊香





た。 一大連準誠にかける宮崎藤原に使等の の如く内地に放て問題さなり数肥。 に對し有の転を指摘して抗議を選問。 の如く内地に放て問題さなり数肥。 に對し有の転を指摘して抗議を選問。 と要の宮崎取引が場響的現象の結構の最大に就て映正するの必要が 年度の宮崎取引が場響的現象の結構の優々に就て映正するの必要が を生度の宮崎取引が場響的現象の結構の優々に就て映正するの必要が が、常地解して抗議を選問。 かったもので、保管制度に使奉 をの優本に就て映正するの必要が がする場合ので、保管制度に使奉 をの優本に就て映正するの必要が がする。 をでしては、他の優本に就て映正するの必要が がする。 をでしては、他の優本に就て映正するの必要が がする。 をでしては、他の優本に就て映正するの必要が がする。 をでしては、他の優本に就で映正するの必要が がする。 をでしていが管後窓につき等。 をでしていた。 をでしていななななななななななななななななななななななな 満洲産業開發の為 我權威者派遣要望

然では、北京は北南族の質高変に南支族の小山質あったまらず十山前帯の大連特施市場。早して、一萬五千箱の取引高海に於ける不安人組は依然さし一料さならず一紙に上伸して振道に於ける不安人組は依然さし一料さならず けふ更に近物七錢高

當局大體成案を得

著等を加へて百名餘三ケ月中の豫定で今秋湊道すること、なつた。瀬崎迎、キネマ班、新眺記を踏ら近く京野家た養表、全國から各方面の輝泉た人感もこれに通信班、瀬崎迎、キネマ班、新眺記を弥通するやう要等して來た、佐つて陸皇者では東に参謀を部と協議を遂げ大牌成製を得た計畫を採取主任日登』諸州國政府は九日我陸軍に對して正式に諸州重業職養のため日本の採門家學者の極殿

上決定を見る等である上決定を見る等である 協會定款は軽縮配い會議所導係局 歐洲人絹ダン 協會定数

朝鮮對滅輸出

列國の誤解を釋

伴きに行く

15

良に

學良も

紫廷幹來連談

日召集される第三臨時議會の開院

でなんに流布されてゐる事官 、伊、毎、自三師も聞らなく を脱退する前提であるさなと同時 脱退する前提であるさなと同時

臨時議會豫定

解職の後かうけ自ら外相へを満ったというりょうには 最近グランギ

つた事につき

から

軽氏はこの程私用

时局匡 救費

二年間に約六億

案を審議

賣發機處兌

防火装置の

完備は人類最高の福利

慰留も空し

歌迎會席上 松岡洋右氏談

される。ス氏の変裁のも一つのは、地區に危機が生むに至るものさ、地區に危機が生むに至るものさい。産業に、大田の変数の事業は、大田の変数をは、大田の変数をは、大田の変数をは、大田の変数をは、大田の変数をは、

を決行した場合にもの態度ださって居る含み聯盟の態度ださって居る含み聯盟

めんとするにある如くだれいことを要慮してないことを要慮して

蔣も決意か

るるが四部の事情學良一治安維特問題につう質問これに動行せしむるか注目の無一學良た訪問し今次の改變さ物支の殺 目下蔣介森が期し ルデン氏は昨夕外突順を代表し張

伊獨白三國の

聯盟脫退說

文

男

カース

送津京

K

大採集法

一日開院式の會期八院成立、二十四日開院成立、二十四日開

りヤマトホテルに関東軍司会部時 りヤマトホテルに関東軍司会部時

結局學良を能免せん

静養の準備

は飽く迄聯盟總會及十九ケ園委員會を支持するや否やに就き明確を缺いでゐるさ見られてぬ皺の脈懸化を希撃し耐みや部や日本がリットン開報告を拒否し支那が條件附に受諾せる場合アメリンを懸くてゐるが、米國は継続の軍職権線全英遠は帰職者中に飛騰騰緩を対域は帰職者中に飛騰騰緩緩を対域は帰職者中に飛騰騰緩緩を対域は帰職者中に飛騰騰緩緩を対域は帰職者中に飛騰騰緩緩を対域は帰職者中に飛騰騰緩緩を対域は帰職者中に飛騰騰緩緩を対域は帰職者の軍職権機能を表現した。

てある。見られてゐる

又日派を激勵

のり密かに野様した影響の大学の大学に生るものと

高橋藏相に

離黨を迫るべ

本庄中将の

轉補挨拶

司分部將校に

セン

さぬはる

祖始の業信果 挽 番田 登調

政友少壯派の强硬意見

聯盟筋の觀測

C下当湖大使 帯明を求むる如きことあらば抗議と同様にて重大視さるべく成治は消費さる【寫眞はC上)

とて上海に乗り注動衛と會見すべ

る國府政組は現在一

だが又積極的に注た復職せるめ一線蘇聯は責任内閣の常然の處置上海特體十日襲』吳鏡城は諸る

學良の下野通電

爾内漸く動搖

各方面共異常に

總辭職は當然

田淵大使近~國務長官と會見

作戦を立て流

飛行機で飛廻

用兵作戰に偉功

榮轉した石原参謀

岡間通商條約御批准奏請の件、佛領印度支那に開する日佛剛

の受験資格に関する中政正法律

るを懐ふ【挙天電話】 るを懐ふ【挙天電話】 個度に縮めた音楽のみだ、未来の 個度に縮めた音楽のみだ、未来の

四十度の北浦の極寒中か飛行」な程一人で 一人で引受け時には黎下 物に一時は雅も呂なくなつてもまで報ご一人で引受け時には黎下 物に一時は雅も呂なくなつてもま

老類見では今更いくら招聘されてもお後には立つまい。もう自なでは今更いくら招聘されてい

日 任命と満洲の外交事務の関電が期 、設置に關じ外移省は陽直十四名な 、設置に關じ外移省は陽直十四名な の四分の一程及に資定、

認識をく宮池地方の懐に、総甲往跡の語者にた、総甲往跡の語者に成立美須町の版谷甲であつたが十日

七十二酸には見えない元無な様々

作活を要求す

全権豫算の

農民俠客國定忠次……大野九郎 療服 養 民 宗 吾 ………宮川 昼 新作中頃三篇・新選小明六篇・輸入を成って 東京 帝 ………宮川 昼 新作中頃三篇・新選小明六篇・輸入を成って 東京 帝 ………宮川 昼

『北平九!! 費』 北平政紛奏號會は、 るるが場合によつては内田外相ので、 おっしい はいまれり 説夢良の下野、 ち荒木陸相ごはいることで、 はるので、 はるを変でした。 はるを変でした。 ら荒水陸根で協議し高級機材のお 近世義民傳(五篇)

の小畑は像◆作州バーの一角車新兵衛

の岡式

武藤全權大使

就任挨拶

早過科醫院

佐藤久三郎

醫院博士

東海間で定例本會議を開

更品从上主席 三原(西水

○高・南京虫軍全滅

鑫近江屋商店防火部

一駐日全權

見温泉的麻疹の結果。一 教でる事に略意見の一致な見たも 幾何の康兼を認め得るや 三ケ年間約六億圏を以て時局を国 を取り取りまり見、事業を観させる事中や地方合して 事業をして略同額の三億圏程度の 解と可以、というと、事業をして略同額の三億圏程度の を変し、というと、事業をして略同額の三億圏程度の を変し、というと、事業をして略同額の三億圏程度の を変し、というと、事業をして、というに、地方に、地方に、は、また。

樞府意嚮決定

滯連日程

界スプリンクラー(Simulation) 最もOM式自動屋外不凍消火栓 最もOM式自動屋外不凍消火栓

鮑氏を派遣に決定す



東洋平和のため

語學の天才揃ひ

研究と蒐集と多趣味とで

賑やかな總裁の一家

家通譯要らず

総裁に乘出し

た譯

機關統一に伴ふ

人事異動はない

關東廳某高官語る

横からみた林新總裁

秘書西脇豊造氏は語る

關する日本の

配

說

デレンマ(十たび)

支那移民禁止 解決の根本は



保り記者より の設備未完成職館に関する非確 の設備未完成職館に関する非確 でせうが歪急陳列その他の設備 た完成して人場者の失望若くは な完成して人場者の失望若くは

車単と音樂

當市弱係合

見本展示會 具體案、期日等決定す 産業道 電イでは をあつたらうが、料金 のでは、 のでは、

待降軍異

動歌

して八日軍事参議官兼補の仰沙太【東京九日費】鼠崎參謀次長に別 軍事参議官に 次長兼補

綿糸粥保合

療言之所計速 地做二一野狭若市連大 (前院医男岩) 院醫科盛森藤

大事業は大平 東京集の賞品は山程! 大事業は大平判!! 大事業は大平判!!

オマケの対録

場山一郎

◆時々恋へることは、演覧は範歇: とんの中から、特に歌劇のある 大々か歌出して、一オクタープ か、重要さんの御野成

砂票温保合

大小数々の 「第二學期に際して」の 「第二學期に際して」の

三三元

地ボンヤリ 况全

市

でである人々の語るさこと

満洲向商品の

無任特命全権大使關東是官 施護免本官 關東顯醫器 杉町勝次郎 際東斯醫器 杉町勝次郎 安孫子貞太郎

うらる丸の船客

連ずる迄しないこころである。 來の。これ音人の繰り詳しく論 さへし、到底之た望むここが出

商品は何れも

内地製造業者及び貿易商の発表に

はいておられるやうだ、頭が良 はつておられるやうだ、頭が良 はつておられるやうだ、頭が良 が変にあいてゐる、何事によ 一次な一個の種物園で係員が十二、 源な一個の種物園で係員が十二、 源な一個の種物園で係員が十二、 一人ら貼りその甲三名は高等配数 では、頭が良 を放してゐる、何事によ 源な一個の種物園で係員が十二、 一人の一

標本新住態兵司令官の手に移るべき若間早くも購東蠍架宛の強権がも若間早くも購東蠍架宛の強権がでは武族全権の兼任さなれるに就 のです感も顕化がない随つてこ の憶説を選ふする者あるな間 をの憶説を選ふする者あるな間 をの憶説を選ふする者あるな間 でのします。

の官制にもさるやうな機略及人事の果動は行ほるべきものでない、人事の果動は行ほるべきものでない。人事の果動は行ほるべきものでない。人事のあるも殊更に果働さ新するに、機・橋本服長司舎官いづれも至長、橋本服長司舎官いづれも至くなっても悪くななるなる答がな、勝負は外間の高くななる答がな、勝負は外間の高くななる答がな、勝負は外間の高くなどである。

駒井長官を御召

山岡前長官

のの「下は本日午前十時中より駒井織三 事情より今日送の經過を継続にゆった、 ない然で駒井長龍より湍洲間壁に続き 中にし終時順に深く神観取下には能會 にた軍舎部に沿され軍会部長室に 懲明形と上げた、殿下には能動の 氏を軍舎部に沿され軍会部長室に 懲明形と上げた、殿下には能動の は長 【東京九日数】休見軍令部長室に 懲明形と上げた、殿下には能動の は長 滿洲問題を御聽取

で来清客方館に長官静化滚港に列ったが山崎前間東長管(それ時前 一日来任する旨関東駅に入電があったが山崎前間東長管(それ時前

で四四四四回後 近四九二四引 で〇〇〇

語を自由に話し語學の天才にが「に通じ一家遺識るらずであるづらしからう認趣は衝突側三ケー語を、その他六人の会觀各々意識の一家程趣味の廣い家庭は「學餐院高等科二年の正暦でドーの方代を表現して和風特派員十日費」 大人は実話を一人息子の友能 満洲國の存在は

た期する上においても經濟研費機 であれた通り細重に圖防の安全

日に出て約一ケ日に連絡に行った!

品

国教院建新長官 駒 井 德 三 信じて居るのでありまっ ない外側人管度がその 際いするのは無論追衷 になって居るのでありまっ

本各地名産

荷着村田均一店

力なる私の無めに

0

後も河際心に昼電に御質問遊ぼさ一時半報會したるも殿下には報金を向十一時には終始駆除際く何観取午前十一時には終始駆除際と何観取午前十一時半時間としては、殿下には暗撃の

打合せて

三力通西達大

伏見軍令部長宮



本の 中日田後上京

「他の大連市根域開発に就き

「他の大連市は満洲四頭政治総一本作ので十日出版にいかる地で

「大連市は高洲四頭政治総一本作ので十日出版にいかる地で

「大連市長は満洲四頭政治総一本作ので十日出版にいかる地で 市制業を携へ

(6)

の中にはいりました。 薬の配下を二つ三つまがつて、何

こと次郎さんの種を見てるました。

かり訴しました。

「お母さんのぬる所、無知つてる と。明日、就へてあげるかられ」 「知つてる?」

じつさすわつて

てこんな所へ来たの?」

作むさい本政

囚太

飛行機で三十三十

さすばらしいじやありませんか、際様は

れはイギリスの上空を防備

F

ン

は多くあります。海に親めない病 がたに親めの弱者が山の空氣に親 なった事質 なった事質

大連近郊では戦争戦の場 がその山で揺らい湖路湖をする事を同いました

日

すが験者は泳げずさら大自然の

月の中旬から九月の中旬にかけ

慶水寺町道から右に入つた鰻家屯 慶水寺町道から右に入つた鰻家屯 関東大学町道から右に入つた鰻家屯

夏は海へぶへさたれらが

洲の暑さ

きて一川を総じ

も八月中旬にもなれは秋日を総もんでは如何?満 日を総もんでは如何?満 では如何?満

東東容所上の小松山、幸泉満方面



この原因を考へ始ら社會組織や資本主義の機本にまで考へに目覺め先づ家内の重著るとい空気に苦痛を感じ次に十六

業の真の原因を明か

か、お八ッが思ふやうに驚へないさか遊んだがで粉物がは十四歳値から端まる、それ以前は食物が充分でないさ

〇…不況殊に失業が子供の心理に更へる精神的な苦痛な影響があることが教表されてある。

〇…不況は今や世界頭のものさなつてあの料部の補助を行はせられるためである。 場合、社會師、又教育的な意場からのさなつてゐる、失業者も経々増加

す、然と松繁には食用のよができます、龍王や、長い 食用に不適 食用のも

旅大道路には松露もおほい

忍びよるシー

しすか初茸狩

あるしので、低い松の木であつて 初端は勘つた松の木の下にできて がつき島いのでよくありません。 ものはありませんが、こる時は若 食用に適しないさ云ふ様な危険な色の主異つて黄精色で、これには こちらの
初地は内地の紫

西瓜ささんま、籐鱏、舞類、 突、青梅、梅干、西瓜 ささころてん 恋、魚肉、そば

て居らずポッン

初めて初事特をする人は知ら

は根常生えてぬます。

簡單な美爪術

マ海を入れ南瓜だけな光によくいと、誰な洗って一世切りにし、桃 が南瓜 の天ぶらの衣をつける うに二枚の南瓜の間に焼み、整道か充分ふる)なサンドイッチのや 本風に競きましてし美味しい 南瓜の皮をむき

作先の美しいのな喜ぶのは近代的美意識のすぐれた表現の

ドコでも出まる

道具もいらずに

し)で聴へます。存配のねるま湯に撮影だけつけて爪の爪を行みの壁に切り、やすり(昔からある木脈ならなほ

の簡単な美爪術はぜひさ

もおすいめ致します。

た入れます。 茄子の山かけ 茄子 格の自 その他

腹部の代りに歯磨粉をつけて磨き

ムなつけて

湯でゆすいでから

ます。健康でわればこの気のある自然の爪は赤

切けなふりかけて出こ 豚の腕肉に

るであらう。

野間

ものです、初期が作ってぬるさこ 旅洋意すれば物ります 一概でなってぬましても大 一概でなってぬますから秘事の色だ

ない事は、地を振き散らさない様でい事は、地を振き散らすさ

く道

満日案内

牛野

並三拾銀場

避けたが 夏物の食ひ合せ よい

か人も多いやうですが、中にはちったも思はれて一寒に砂とてとまいることは昔からのい **茄子と南瓜の**

第189 土井 晚翠先生

同誌の昭和五年十一月號にある。

色々の話の末、野

家庭の暗さから摩楽に繋げる種味を失ひ、又家庭の暗さから摩楽に繋げる種味を失ひ、又家庭

南瓜のつくね 南 く切り、身き蓋を作る、 力を陳出したして焼き、ばらばと方がよい)つぶしますっ一時を 前の南瓜さ交ぜ合せ りぬき 南瓜は皮

大皿に盛つて出 筍 きやいんげん、 たもの 信を以て書

ため水を少し注し、砂糖樹油味 験からす る。「四つ

肉な中々に交ぜた地内(瞳、胡拉の薄さに大きく切る、牛肉は はさみ揚げ

切りつ

の上にかけて、散ちそのみが でのばし、

た紅をさしてごらんなさい。低し繰り濃いさ目立つて下時など一寸おしやれがして見たいさ思しみずなら水溶き

は無いやく 體とな 人で作を上 録は、 處世の

胃腸障害の起り易い 時 西古今の聖賢と 人座談會』を交通を訴訟が開いた指、野間さんもそこに列した。 榮えゆ 揆を一にするもの 讃後の御威想 条川君が日つたことが



運情そのまとを寫したもの」 彼自身の文句を引用すると、 があるまい。其近着『葉ラゆく道』を頂戴して開卷時類の序か 一社經營との眞剣な體験から悟り得たも 自己建設と 是書は「真然

ある』と日ぶあたりは東西古今の聖賢と揆を一にするもの、そして之が體 天理天則の幽立な黒高なものが確かにある。之に背くと人間憲事皆駄目である。 日本國民として、 の鍵層」と題して書標の上、事業の上、人生の上での鍵層についき『天上観瞭』を記さ、おれたものであり、二十数短前指金の申認で属り扱いた紙の間縁から書き始められてあ 米てるから實にない。 であり 『最後の一行に到るまで是非々々讀了されたい』と大自 日本國家として進むべき大問題にも論及し 『事業は畢竟道徳で 琴古 **洋家** 六、四半、二、風呂床 で話八六七 **貸家** 六、一水便 住宅

を若男女四民一駅みな本書から何らかの歌訓。何らかの暗示を受けれことはあるまいと思い。 『人生最高の理想へ』など資金主の文字、そして最後に「阜原園園』に感謝を捧げ、仁道を四海に布。 「人の観方」『情報の言説第』『誠意の交感』『心意気一つ』『子ぞに改す最大の産は自己の情報』 の天職が説き『大鵬和』を以て本書の結末としてみる。 苦勞人の至言

初めは道線の撃骸を信じてゐたのが、破悪な實計會の液に浮沈して、その信息が利上の その一様を突破して道徳でなければ世は渡れぬと最るに至った野間氏の 文藝家 大 倉

野

樹料鹽院

婦婦 派 造

木村屋

ミツワ附添婦會

学校会でから得用命を報かるで を選送送速通端手續 一方式が、得用命を報かるで でから得用命を報かるで でから得用の技術者を信

重みをもつ。その心境から利他の忠實を自己の道言に置 それは標理ではない。環境を歸納して酸いも甘いも吹みわけ 大苦勞人の至言としての

数を赤裸々に自ら解剖してゐるのであるから、塾實謙抑な人 流である。 野間氏は事業界の大人物であるが、この養滅によると石橋を

る。人を使っ人、使はる人、職を求むる人、 然の成功の道程はあるが、 ふ人、使はるゝ人、職を求むる人、人を求むる人。個々を導き文化でに共通した人世の要ら歩み得た道ではない。形まんとする者は何人も、只今から禁しみ歩み得べき、常經であ る。新地や美田とした機震が、その過程が、政治を見れに打明けるやうに、 は無い。凡人も大を成し得べき自己修 事業的天才の驚異は味はへぬ。一程

その最後の質に至って、もら終ったのかと思ったほど一気に讃ませられたのは、呼吸な薬術からで『仲をよくする』人和を強調して前途即識だる理権を提唱してゐる。 更により大きく最も大きく是れを運用し得る人材のための母常經を明るく强く運用した。さうして失れの圖熱した此活記 である。本質の人情、本常の遺伝が、米の版のやらな故味として要く力であらう。 さうして全篇を進ずる一貫した物神は、險思な現代の世相に對して萬

立身成功・事業繁榮の指針と感激の風を巻いて変れるく、大盛況・ 精治著 、 榮えゆく道 定價五十錢

好機を達せずスグお求めあれー

得る所必ず甚大!

算盤の御用は

白帆高級お化粧紙

設店機能 货室

正通八五三共廟會に良く幼御試われる出現

古本の御用は 電話 一四五三番へる 開書房へ電四三六二番 草津福泉湯 モミ 原治お望み

大然電影局振替×連一三七六番 ヤカタリジン錠(速配) ・ カタリジン錠(速配)

ヤナギャ

| 本春 諸南塚ハリ灸事門疾院 ●大連市大山通り 小林又七支店 郷文 印 谱 艦 需 日本標序電話三五八四番

一で製物を製作用物を買受し数 小型活動写真機 小型活動写真機 シン機蓄質機 電話七九〇三番に

古着 特別高順質要まで 日藤町エベスコ電話三二五九五 神親高順質要まず 五流異高順質入 不用 品親切本位質受 フィッキ町品 金融領期低 日陸町さかびや電五四三七番 三河川 油内 電話八六 **梵衣** 裳 日陸町 三浦屋 **木用品** 賣買 電話と金融 電話五五五五七香 電七四三五 市内目振きの場所飲食では、一大大番へのを譲るでは、一大大番へのをできる。 中川協科際大連市西道九三常整備附近大連市西道九三常整備附近 の方には漢語など 斑點皮 大連萬年策場院、電二二〇大連萬年 筆並修繕専門大山通 女家政府通動派遣 性度病病 大連市三河町二 路院 間部紹介所 大連市櫻花臺一四五粒田畜犬商會 中海 (東京) (東京) 1 年 (東京) にんしんあんま 乳・ラ其他映編手足の痛む補方様 等和川流 等和川流 等和川流 等和川流 等種縣 等髓病、神經系病 時級 等髓病、神經系病 時 等髓病、神經系病 信濃町通浪速町電車管留大連面深速町五丁目面大連面深速町五丁目面一番大連面深速町五丁目面一番関聯、サンツタ、神經浦、脚氣線人病、丙嗪、喇叭管、卵巢炎線人病、零丸、陽節、岸、ロイマ 鍼灸按摩 辨天堂主風呂崎 西公園可雪車繼羅田所前出身後田藏灸療院 ムラタ療院 ージ、あんぶ

プライター倉町

旅順動物園

手斧で頭を亂打さる

海龍の警官合宿所に匪賊

一般山中層東京に記述 の健康は新原の健康 による歌原像樂都にて が三十名を以て財 が三十名を以て財 が三十名を以て財 が三十名を以て財

長更迭

蘇家屯警察署

日間で振順の発育・

で、一般に出版してるた響響が無限於保少佐は初かに出版してるた響響が無限於保少佐は初

平区

來り難領神社に智道した

を記され、 神歌で帰郷したがずし 七列軍で帰郷したがずし 一名の鹿を贈られたの

鐵嶺神社に神鹿

于芷山將軍から贈られて

於保少佐の寄進

鄧鎭梅

味と内通

凰城郵政局長が

| 15 | 名のみ満州順に惨戦し | 「「「「「「」」」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「 我軍艦から砲撃

職販に向大高炎性が に動きなの職職に対したので我 にと居るさの職職に対したので我 にと居るさの職職に対したので我 にと居るさの職職に対したので我 のの鑑は同方面に對し数十分の利 の対し、ので我 營口附近其後の匪賊 よつた。 鳳凰城附近

五時頃編下五量子に於て八十四個清十数名を遺棄し開原解下五世子に於て八十四個語と遊ぶ郷板を吹へたが駅間には大きない。

保安除交戰

農保護の驚に塞された 一帯に野脱する勢緩慢の 乳肌なに脱在する晩飯順は紅腹黄地田地 舎屯(維首姜目三) 附屬地に土墙

部館)つに生産が、100円のでは、100円 な総合こさいなり急速に関係する。 二遣司令官 なった世用美他は 學良が抑壓

北平は案外平

安東新義州

奉天小南關に 二百名の匪賊

四間呼近に二百名の肺臓が呼ばれ一力して之を軽速した 公安、遊撃兩隊が撃退 (球) 吉村、田中(殿)三七日午後三時より新義州球場 ベストメムバーたり惨で精な対等事故あつて参加と得な

在中であるが、常分感受験情の任 新生八十名は目下公天要要上に確 と「漫画されて来た旅順等目等質」 を表現の整備上海のため思 警官練習所生

鐵嶺附近に

鼠賊橫行

盛に人質拉去

安東附屬地への 好馬兄州部将富坂房 一有酒吉服酒橘板安 三有酒吉服酒橘板安 鐵嶺水泳大會

安東水泳大會 於て全細模の水泳大 事を摂きを接触抗, 野城會では來る十 市會な探影でる。
一、底瀬市起演の体
一、底瀬市起演の体
一、底瀬市起演の体
一、底瀬市起演の体
一、底瀬市起演の体

執印千葬氏死去

赤十字救護班 會を除き談練を決定 派大會は十四日六 い歸る 【書書】報源電浴局では新業子東 去る二日提証無で入院酵業中であったがこの程完成せるたり、日午後三時西本観寺に於て暦行も中であったがこの程完成せるたり、日午後三時西本観寺に於て暦行もて日下監行動誘中で今月中は新標さ なれば一層増加する見込であり部にも指信の需要ありを斯さら 懿路に送電 相信の需要ありを新さらに實際してゐるが逐季に

ラ建防法制をではでいる。 「関地内へは何れの方面からしました。

| 「地内へは何れの方面からもコレーを実践して通過せらめるとに像人せんさするので八日から附 た者は最込み (空前が本人の) いる 安東 安東 安東 安東 () 安東

眞性ご決定

出入者監視

コレラに脅へる安東

一十四名は息々来る十二十四名は息々来る十二十四名は息々来る十二十四名は息々来る十二十四名は息々来る十二十四名は息々来る十二十四名は見るない。 今秋から 以來說做勇士看護 開一等兵に九日見難金を贈早した。後中の脈脈城分遺除真仏原、五味 さた悪び歓迎してゐる

んの思みに浴 と得を 警備會議 大石橋

奉山線に於る 我戰死傷者

(四)

實力をもつて

頭目を奪回

衛同朝二時打

沿線往來

除長送別宴

月間大石橋点兵分道隊

自在丸金橋公司苦力解振山(できたるその)へついて、これを

街少年相撲團

四平

奉天に挑む

十三日に奉天で決戦

あつて毎比較順ひます

大日本麥酒株式會社 からこの点を充分智能強

消化不良、 胃弱等胃腸の疾病及

驚く程有効です。 び衰弱にヱビオスは アピオスは消化をよくし食慾を度のんだ人は皆質質されます。 エピオスの評判は大便なものです。 食熱を著り

膓加答兒

こば八日午前九時陰慄工教表されて東東」形彰公司の超工を観念する 女工は陰性 新義州の豫防

大々師に戦の職隊ご大掃除され役。り週井氏等は中マトホテルに入つので権病師戸日調査を行び一方・一行は継続後忠觀塔で極天神に、大力で、東京の職隊で大掃除され役。り週井氏等はヤマトホテルに入つで、東京の職隊で 学せず大野道性二名な出したのみ 一家東 新瀬州はその後コレラ歌 應援醫師來着

期することとに、独特の徹底を で警察署でし防疫監更一名か 問いる 智官三十名は九日午前九時中の 野電三十名は九日午前九時中の 野電三十名は九日午前九時中の 野電三十名は九日午前九時中の 野電三十名は九日午前九時中の 野電三十名は九日午前九時中の 野電三十名は九日午前九時中の 野電三十名は九日午前九時中の 野電三十名は九日午前九時中の 野電三十名は九日午前九時中の

望を集めたる管庫隊長は終日分望を集めたる管庫隊長は統一代前山民の

奉天のコレラ 鐵嶺守備除

藤隊長の武連た祝福して茂蔵二県、年後六時半大石橋恵兵隊魚武、野

旅順放送

旅

▲海般の異常 氏の後

時頃土金子附近の花山都添た裏郷。同氏は満洲の韓国さしては古い郷のる百餘名の」側は七日午後四さ思つたら本常だつたさ大院びへ開展展下に横行する興奮陳魁橋のき速びがサモなければ戦器だらう 院つて南下とたさ 政師手腕が登事して泥漏が時間に賃後継続編内に入るべく発来 職の所行者で無解店時代に大に行 職の所行者で無縁店院同氏は満洲の韓国され 報に響した響部は耳が態いから関

陳魁福南下

際に機器大に購く事だらう、十割もあったらうが、最本課長の 野遊びな必要株代さ 長さしての彼、久下沿署長の

は残さまぐくのデマ様び橋本郷長の難任で首なき巨戦ごなったこと **新發寶** 一〇〇〇個 七〇個

一〇〇瓦 一周七十錢粉末三十三日量 粉末・鏡鬢・大瓶、小瓶各種あり 錠劑 一〇〇個一圆三十錢 全國樂店にあり

傷つきながら 機敏な勇敢な遉に帝國軍人 荒木運轉手當時を語る 應戰

五十二競争に訪へは織む解を揮へ一連車は

容天帯で変容。「高り練習単課に勤務の険を見てに高り練習単課に勤務の険を見て

本人は六道鷹河側所に収 を成といめで直に木郷に報 た「大道鷹河側所に収 を検えび附近全部を大催 町に舵で小選したので午後五時五十分 ので直に木郷に報 た「駅北大衛艦賞香(こ)は市内加炭 ので直に木郷に報 た「駅北大衛艦賞香(こ)は市内加炭 ので直に木郷に報 た「駅北大衛艦賞香(こ)は市内加炭 ので直に木郷に報 た「駅北大衛艦賞香(こ)は市内加炭 ので直に木郷に報 を検えている。それか ・ のでは、それか ・ のでは、ころが起いでは、またので午後五時五十分 のでは、それか ・ のでは、ころが起いでは、ころが起いでは、ころが起いまた。 ・ のでは、ころが起いでは、ころが起いまた。 ・ のでは、ころが起いでは、ころが起いまた。 ・ のでは、ころが起いまた。 ・ のでは、ことが、ころが起いまた。 ・ のでは、ことが、ころが起いまた。 ・ のでは、ころが起いまた。 ・ のでは、ことが、ことが、ことが、ことが、ことが、 ・ のでは、ことが、ことが、ことが、 ・ のでは、ことが、ことが、 ・ のでは、ことが、ことが、 ・ のでは、ことが、 ・ のでは、ことが、 ・ のでは、 ・ のでは、

に卓効を奏します。

乏現象なご汎ゆる疾病

ヴィタミン、ホルモン缺 育不全、母乳不足等の 肺結核、肋膜炎等の消

5虚弱者も衰弱者も速に健康を固復されます。 巻が急速に高まりメキー / 丈夫にな

増進します。胃腑が丈夫になる結果

耗性疾患、

小見の發

るからであります、これはエピオスが 種の成分(デイタミン、酵素等)が活 種の成分(デイタミン、酵素等)が活

來て居りますからこの点を充分智能で 法に依つて製造した酵母側であるから 法に依つて製造した酵母側であるから

製田邊元三鄉商店 地震元三鄉商店

日本をさせいなった 滿洲正義聯盟 團來奉

杉町を部が着 APPEL

1 一行は微学地十一神路に宿た地取 不脱な機の幾千の兵服義をびるこれ出したのみ 満洲正義職職所一代百名は九日十 元 最ら緊張側に午後二時散會といか向海町出來 五時栄養感行にて大連より來報。 た、蛇にがて大存標の緊順は融して後コレラ豪 【奉天』演井紫樹日みませる。 齊藤憲兵分遣



T 用 を兼 ねる

速光性點眼

スマートな

携帯便利で

べき薬効の進步

痛まず、シマズ、心地良くキクー

用

症"應"適" ○トラホーム ○結膜炎 ○今院園 ○くりり目 ○経日 ○たられ事 ○はやり書 ○のほせ目 ○かすみ目 ○打ち目 ○だられ事 ○はやり書 ○のほせ目 ○かすみ目 ○打ち目 ○にしま

第二に……目を美しくパッチリさせる働きがあります。でんよりと濁つた目や細い醜い目も 関「大學眼藥」をでんよりと濁つた目や細い醜い目も 関「大學眼藥」をでんよりと濁つた目や細い醜い目も 関「大學眼藥」を 作 用

眼

(日曜木)

紫外線防止作用

第三に…… 光線中の紫外線を防止して目を保護する力が

以上三作用が一つになつて働く

以上の治病、美眼、紫外線防止の三作用は、別々に働くのではなく、互に相伴ひ相助けて强大なる複合的樂理作の最高権威として自他ともに許し、眼科學の秦斗たる五代書が口を揃へて推奏せらるゝ所以であります。即ち大學士が口を揃へて推奏せらるゝ所以であります。即ちずしるを和らげつゝ治病の効果を充分に養揮し、美眼がよしさを和らげつゝ治病の効果を充分に養揮し、美眼がより、病患部の刺戟を滅じ、病眼のまず、いしさを和らげつゝ治病の効果を充分に養揮し、美眼神を治す一効があり

護し、いろ では、10mmのでは、1 しくし、目性をよくし、紫外線を遮つて目を保マ「大陽眼藥」を健眠者が用ひる時は―― いろの眼病を醸防する効があります

を別無を信っ含めに……を示代生活の満中にあつて、より他やかなす他、日に家族を加へ来る示代生活の満中にあつて、より他やかなず他、日に家族を加へ来る示代生活の満中にあつて、より他やかなる。 **資格ある態識となったのであります。** 大の日常生植と艦るべからざる密操なな機関をはつて、常に、その人の日常生植と艦るべからざる密操なな機関をはつて、常に、その

山中 崔之氏 小玉龍 藏氏

新たったの地で販賣

衞生·便利,

經濟を乗れ備へ

遮。茶。 光 、 褐 、 性 、 色

働

眼が

r

であり とは即ちこの品

日楽は一滴宛滴下 そのま、自動的の點眼器こなつてなの帽子を人指しゆびで押さへると、容器は容器の下端のゴムの蓋を取り除き、上端のゴ

價格は在來品と同

◎経験は約百十職あつて在來品より約壹割强も増量してあり

の使用法が閲覧で、ドチャチなく能にでも一度に一筒を悪いさせる。

●香水配とも自動。許りのスマートな気品ある様式で、近代人の趣味

●最後の一高になるだ。外間から慶庆や不潔物の人る慣れがありませんから、衛庄工程野安全であります。

改革を加へ、なは薬液量も青割強の薬質、容器、包装、すべてに根本的 増量を断行しましたが

價格は従來通り

各業語の 用 五 十 美 中 和 二 十 美 一 十 美 一 十 美

本新唯一比 サニテープ包装の大學洗眼薬

製「大學院藥」には、一瓶毎に「大學洗職藥」を添へて製「大學院藥」には、一瓶毎に「大學洗職藥」を添へて 「大學院藥」には、一瓶毎に「大學洗職藥」を添へて 「大學院藥」には、一瓶毎に「大學洗職藥」を添へて 「大學院藥」には、一瓶毎に「大學洗職藥」を添へて 「大學院藥」には、一瓶毎に「大學洗職藥」を添へて 「大學洗職藥」は錠剤になつてから包装されるまで少 「大學洗職薬」は錠剤になつてから包装されるまで少 「大學洗職薬」は錠剤になってから包装されるまで少



ムピックの

旅順刑務所

來連した

所管⇒警務局

食糧や配給

コレラ患者一名發生

救濟委員

會や組織

一を調査

語】中支が以上のよのである【奉天電

噂だけ

關口一派放還

千七百廿九名

八日現在の虎疫患者

一般のでは十日観測性コレラさ快定」 「保健子("o)同断町九四馬鶴栗("m)」 「保健子("o)同断町九四馬鶴栗("m)」

愛電所襲撃の

謀議內容判

飛び計畫

施設完備計畫

慘澹たる北滿の住民

観察は球場に語

海流に洗はれるキタイスカヤ街

戦機をおきない。古林

一丁は単なる下別患者で

/津居留地

で

支衝突

邦人陰性

大連には氣の

三宅大

輔氏評

八出凡そ一萬

・ 軍陸戦隊の患者二名は九二院性を 決定

話

賞屆發締期

先表切日 八月三十一日

大日滿產業博覽會事務所 二十人に賞品も贈る

博見會な場内に限る

出品 ます 財 数

博覽會競寫會

キャビネ以上

制限ナシ 河内三雄、内山光明、土田寛一青山春路、河井幸治郎、内田實、貼付し必予裏面に温頭・住所・姓名を明記する事

審查員

〇簡集作品は建級

末あり

振替

輸料 輸料 本 店

米る成に升八が米の合五・供提 (に練明名氏/生) す配数二種型

機献金

養夜二回

部が

組合

眼鏡製造販賣 支店 支店 東京市下谷區金杉上町八九県市狸小路西四丁目 水 眼 鏡 木 眼 鏡 木 眼

T 18

石界6開祖 南北大理厅区場 電話九九三0番 神明高等女學校同窓會幹事 商標 GMS

を要求なる合数な流じた、 を要求なる合数な流じた、 を要求を行うなが、 を要求を行うなが、 を要求をできれてあるが、 をできれてあるが、 をは、というというという。 を要求をできない。 をいうして、 をいうした、 をいうして、 をいるして、 をいうして、 をいうして、 をいるして、 をいうして、 をいるして、 をいるで、 をいるで、

夜立山驛に

匪賊が來襲

断を決行

往復橫

性 SS

百般

如

鞍山から救援し撃退

モリソン氏は癒々大両洋往海ンソン腹さ結婚した英國名物

分が山野北がに

飛行場に向った同地

增永縣麻生津

九月五日滿日・大連紙上にて發表

八月十日より

初时

大連中西達(常型級通过钟码) ・電話大七五二番 ・

-[3] 皮 軟 た 電 性 素 病 病 見せたのに今は何島にもるない場内を見難した。お変は先程姿を

井上醫院

生殖器障碍 病 縣 縣 縣

ンパロ西森

髪を洗ふと毛はどうなるでせら

髪を洗ふ事は毛の気によいこ皮膚醫學者は申して居りますが、洗髪料は撰ばればなりません。アルカリ分の強いものは毛を赤くします。洗滌力の弱いものは毛をガーには其心配がありません。アルカリ分のブーには其心配がありません。

ふのは何故でせら

に句

お試し下さい。そんな心配はありません。おいません。却つてユスギ残りのものが腐敗して甘酸ありません。却つてユスギ残りのものが腐敗して甘酸カリません。却つてユスギ残りのものが腐敗して甘酸

個一に回一らな髪本日 分半の個一らな髪洋

こそ吃度と思ひながらつい 日延ばしになるのが髪洗ひです

髪を洗ふ爲に何分かゝるでせら 時間でキレイに洗へます。お肌もぬがずに僅の花王シャンプーをお試し下さい、お肌もぬがずに僅のがらの半日がゝりご言ふこごは全く驚くべき事です。このスピード時代に日本婦人の髪の洗ひ方だけが昔なこのスピード時代に日本婦人の髪の洗ひ方だけが昔な

浄なれ 舖本鹼石王花·京東